

ウガンダ共和国
職業訓練指導員養成プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年3月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
10-109

ウガンダ共和国
職業訓練指導員養成プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年3月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

ウガンダ共和国（以下、ウガンダ）では、1997年から進められてきた初等教育無償化政策による初等教育修了者の増加により、修了者の進学先の1つである商業・技術・職業教育訓練（Business, Technical Vocational Education and Training : BTVET）セクターの機能強化及び教員・指導員の能力強化の必要性が高まっています。同セクターでは、職業全般を包括する職業資格制度の導入により、効果的な教育・訓練を行うための取り組みが進められており、同職業資格制度の枠組みに準拠した指導員が必要となっている一方、同国の指導員の多くは十分な技術を有していない状況にあります。

ウガンダの首都カンパラにあるナカワ職業訓練校は、過去に実施された日本の協力を通じて質の高い訓練を提供できる中核的訓練校としてのキャパシティを確立しています。また同校は、2004年から2006年に独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施した技術協力プロジェクト（ウガンダ職業訓練指導員研修プロジェクト）での第三国からの研修員の受入機関としての経験を通じて、ウガンダ国内及び東アフリカ周辺国へ貢献可能な能力を備えています。このような背景から、ナカワ職業訓練校を活用して、新しい資格制度の下で適切な訓練を行うことができる指導員を養成するとともに、職業訓練施設で働く管理者のマネジメント能力の向上を図ることを目的としたプロジェクトがウガンダ政府より日本国政府に要請されました。

これを受け、JICAは2006年4月から8月にかけて、ドイツ技術協力公社と合同で職業訓練指導員養成にかかるニーズ調査やワークショップを実施し、またウガンダにおける今後の指導員訓練の方向性について検討するとともに、具体的な協力内容に関する協議を行いました。その結果、「ウガンダ職業訓練指導員養成プロジェクト」が2007年6月から2010年8月までの3年3カ月の計画で開始されました。

今般、プロジェクトの協力期間が残り半年となったことを受け、ウガンダ政府や関係機関とプロジェクトの活動の進捗及び成果を確認するとともに、協力終了に向けて必要な取り組みに関する協議を行いました。本報告書は、その評価調査結果をまとめたもので、今後のプロジェクトの実施にあたって活用されることを願うものです。

本プロジェクトにご協力いただいた関係者の方々に深く感謝申し上げるとともに、引き続き本プロジェクトへの一層のご支援をお願いする次第です。

平成22年3月

独立行政法人国際協力機構
人間開発部長 萱島 信子

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

終了時評価調査結果要約表（和文）

第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成と調査日程	2
1-3 対象プロジェクトの概要	2
第2章 終了時評価の方法	3
2-1 評価の方法	3
2-2 主な調査項目と情報・データ収集方法	3
第3章 プロジェクトの実績に関する調査結果	4
3-1 投入の実績	4
3-1-1 日本側の投入	4
3-1-2 ウガンダ側の投入	5
3-2 活動の実績	8
3-3 成果の達成状況	8
3-4 プロジェクト目標、上位目標の達成状況	11
3-4-1 プロジェクト目標の達成状況	11
3-4-2 上位目標の達成状況	12
3-5 実施プロセス	13
3-5-1 プロジェクト運営	13
3-5-2 プロジェクト実施過程で発生している課題・問題	13
第4章 評価結果	15
4-1 評価5項目による調査結果	15
4-1-1 妥当性	15
4-1-2 有効性	15
4-1-3 効率性	15
4-1-4 インパクト	16
4-1-5 自立発展性	16
4-2 結論	17

第5章 提言と教訓	18
5-1 提言	18
5-1-1 指導員・管理者訓練の質の向上のための取り組みの継続	18
5-1-2 指導員・管理者訓練の実施体制の強化	18
5-1-3 指導員の技術力向上	18
5-1-4 UVQFの枠組みに準拠した資格の付与	18
5-1-5 指導員・管理者訓練に係る予算確保	18
5-2 教訓	18
5-2-1 相手国政府の政策・制度構築との関連性	18
5-2-2 過去の日本の協力成果を活用した協力の有効性	19

付属資料

1. 調査日程	23
2. 主要協議関係者・面談者一覧	24
3. 協議議事録 (M/M)	26
4. 評価グリッド (ドラフト1)	70
5. カウンターパート (C/P) への質問票	79
6. 教育・スポーツ省 (MoES) 組織図	89

写 真



カンパラ市内



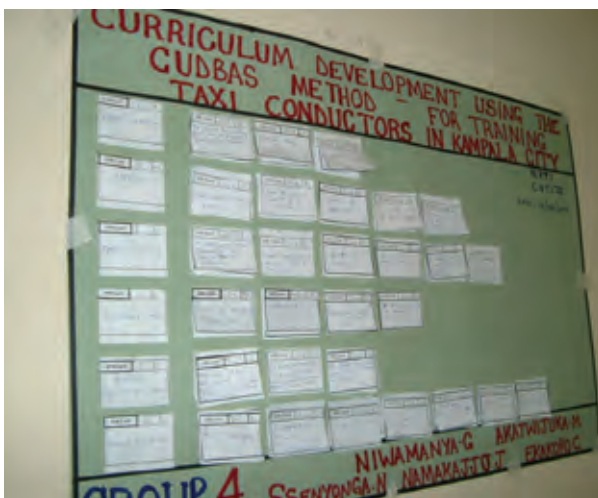
ナカワ職業訓練校



ナカワ職業訓練校 電子科訓練風景



CVTI 訓練実施風景



CVTI 訓練の教材



ジンジャ職業訓練校

略 語 表

略 語	欧 文	和 文
AfDB	African Development Bank	アフリカ開発銀行
ATP	Assessment Training Package	訓練評価パッケージ
BTVET	Business, Technical Vocational Education and Training	商業・技術・職業教育訓練
C/P	Counterpart	カウンターパート
CVTI	Certificate in Vocational Training Instruction	職業訓練指導資格
DACUM	Development a Curriculum	履修課程開発
DIT	Directorate of Industrial Training	産業訓練局
DTIM	Diploma in Training Institution Management	訓練機関管理ディプロマ
DVTI	Diploma in Vocational Training Instruction	職業訓練指導ディプロマ
ESSP	Education Sector Strategic Plan	教育セクター戦略計画
GTZ	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit	ドイツ技術協力公社
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
MoES	Ministry of Education and Sports	教育・スポーツ省
OP	Occupational Profile	職業プロフィール
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operations	活動計画
TIET	Teacher and Instructor Education and Training	教員・指導員教育研修局
TVET	Technical Vocational Education and Training	技術・職業教育訓練局
UVQF	Uganda Vocational Qualifications Framework	ウガンダ職業資格制度

終了時評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ウガンダ共和国	案件名：職業訓練指導員養成プロジェクト
分野：職業訓練	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等・技術教育課	協力金額（評価時点）：2.6 億円
協力期間	2007年6月1日～2010年8月31日
	先方関係機関：ナカワ職業訓練校、教育・スポーツ省（MoES） 日本側協力機関：厚生労働省、独立行政法人雇用・能力開発機構
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>ウガンダ共和国（以下、ウガンダ）は、「教育セクター戦略計画（2004～2015）」において、初等教育以降の教育（ポストプライマリー教育）における教員・指導員の能力強化の重要性を強調している。これは、1997年に導入された初等教育無償化政策の下で、今後、初等教育の修了者が大幅に増加し、商業・技術・職業教育訓練（Business, Technical Vocational Education and Training：BTVET）機関を含む、ポストプライマリー教育機関に進む生徒が拡大することが予測されるためである。</p> <p>しかしながら、ウガンダのBTVETセクターでは、指導員の多くが十分な技術を有していない状況にある。そのため、現在導入が進められているウガンダ職業資格制度（Uganda Vocational Qualification Framework：UVQF）の包括的枠組みの下、新しい指導員・管理者資格を導入し、適切な訓練により指導員や管理者の能力向上を図り、BTVETセクター全体の質の向上を図る協力の実施が検討されることになった。</p> <p>ウガンダの首都カンパラにあるナカワ職業訓練校は、わが国の長年にわたる技術協力や無償資金協力の成果等により、後期中等教育レベルの訓練校として国内及び東アフリカ地域周辺国へ貢献可能なキャパシティを確立している。かかる状況下、ウガンダ政府は、ナカワ職業訓練校を活用した指導員・管理者養成の協力をわが国に要請した。</p> <p>プロジェクトは、ナカワ職業訓練校を拠点に、ウガンダ国内の職業訓練指導員向けの資格〔職業訓練指導資格（Certificate in Vocational Training Instruction：CVTI¹）、及び職業訓練指導ディプロマ（Diploma in Vocational Training Instruction：DVTI²）〕、並びに職業訓練施設管理者向けの資格〔訓練機関管理ディプロマ（Diploma in Training Institution Management：DTIM）〕というUVQFの枠組みに準拠した新しい資格のコンセプトの構築と、各資格に対応する訓練システム（CVTI訓練、DVTI訓練、DTIM訓練）³の構築に取り組んでいる。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>本プロジェクトは、ウガンダの中核的訓練校であるナカワ職業訓練校を活用し、ウガンダ国内の指導員の知識・技術力の向上と職業訓練校の管理者のマネジメント能力の向上に資する指導員・管理者訓練システムの構築を目的に実施されている。</p>	

¹ 一般指導員向けの資格。プロジェクトでは、電気、電子、金属加工、自動車の4分野の資格コンセプト案を作成した。

² CVIT訓練の講師となるシニア指導員（マスタートレーナー）向けの資格。CVTIと同じ4分野を対象としている。

³ 本報告書においては、CVTI訓練及びDVTI訓練を「指導員訓練」、DTIM訓練を「管理者訓練」とも記す。

回訓練を実施中のため、現段階では満足度調査は行われていないが、CVTI 訓練については、第 2 回訓練が終了した時点で満足度調査が行われ、満足度は平均で 98.5%と高い評価を得ている。プロジェクト実施期間中の CVTI 訓練修了者は 100 名程度とみられ、指標の 85 名を超える修了生が輩出する見込みである。

3) 成果 3「管理者訓練サイクルが確立する」

成果 3 は部分的に達成されている。

DTIM 訓練は、本邦研修を通じて養成されたマスタートレーナー 4 名が中心となり、現在第 1 回訓練を実施中である。カリキュラムや教材は試行錯誤を経て完成しているが、今後実施される訓練評価や満足度調査を経て、内容の改善が図られる予定である。現在実施中の DTIM 訓練の参加者 24 名が訓練を修了すれば、指標に設定されている目標修了人数の 12 名はプロジェクト終了後に達成される見込みである。

(2) プロジェクト目標の達成度

指導員・管理者訓練は順調に実施回数を重ねており、実施ごとの評価を通じて、見直し・改善の努力も行われ、訓練システムの構築が図られている。各訓練の合格率は、DVTI 及び DTIM 訓練については今後明らかとなるが、少なくとも CVTI 訓練に関しては、合格率は 80%以上となっており、受講者のレベルに即した内容の訓練が実施されていると判断できる。また、CVTI 訓練の満足度調査結果や、今次調査のインタビューを通じた評価を考慮しても、質を伴った訓練が実施されていると判断できる。

このことから、「ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される」というプロジェクト目標は達成される見込みが高いと判断する。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

ウガンダ教育セクター戦略計画 (Education Sector Strategic Plan : ESSP 2004-2015) において、経済成長を担う人材を育成するための職業訓練の重要性が強調されているほか、初等教育後の受け皿の 1 つとなる BTVET の実施体制・訓練内容強化の必要性が高まっており、ウガンダの開発戦略・教育政策と合致している。また、成長著しいウガンダの産業界においてスキルを有する技術者が必要とされており、職業訓練校の訓練の質の向上は、ウガンダの産業ニーズとも合致している。

(2) 有効性：高い

各資格のコンセプト案はプロジェクトにより作成され、プロジェクト専門家とカウンターパート (Counterpart : C/P) の協働により各訓練サイクルの構築も進んでいる。また、満足度調査において訓練関係者が訓練内容を高く評価しており、受講後のパフォーマンス評価においても訓練効果が確認されていることから、指導員・管理者訓練システムの構築というプロジェクト目標は達成される可能性が高く、有効性は高いと判断できる。

(3) 効率性：やや高い

ウガンダ側より適切な C/P が配置されたほか、本邦研修の実施を通じてウガンダ側のプロジェクトに対するコミットメントがより一層高まり、円滑なプロジェクト運営につながっている。本邦調達機材の現地到着及び管理者マスタートレーナー養成の本邦研修実施のタイミングが遅れたことで、指導員・管理者訓練の実施が後ろ倒しになったものの、長期

専門家（職業訓練アドバイザー）の投入を通じ、プロジェクト活動の大幅な遅延は回避されている。

以上から、日本側・ウガンダ側ともに投入はおおむね効果的に行われていると判断できる。

（４）インパクト

ナカワ職業訓練校以外での CVTI 訓練の実施に関しては、現在のジンジャ職業訓練校が候補校となっている。同校ではアフリカ開発銀行（African Development Bank : AfDB）の支援により校舎の修復・増築工事が開始されているほか、同校での CVTI 訓練の実施に向け MoES による予算申請も行われており、2012 年以降には CVTI 訓練が開始される見込みが高い。順調に訓練が開始されれば、本プロジェクトの上位目標の達成見込みは高まる。

また、現在、AfDB、ドイツ技術協力公社（Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit : GTZ）、世界銀行等がウガンダの BTVET 分野への支援を実施または実施を検討しており、ドナー協調が効果的に行われれば、プロジェクト成果が活用され、正のインパクト発現が期待できる。

（５）自立発展性

以下の理由から、本プロジェクトの自立発展性は高いと判断する。ただし、ウガンダ側によって財政と人材面で十分な支援が担保されることが必要となる。

- ・ナカワ職業訓練校は、高い技術力や主体性を備えており、プロジェクト終了後も移転された技術や知識を維持・活用していくだけの実力を備えている。
- ・同校では機材の維持管理体制がしっかりと構築されており、保有する訓練機材の維持・管理も適切に行われていくものと見込まれる。
- ・ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練の継続実施のための体制強化の予算措置申請がウガンダ政府内で行われており、予算が承認されれば同校の実施体制の強化が見込まれる。
- ・プロジェクトに対する中央政府レベルでのコミットメントは高く、上述のナカワ職業訓練校に対する予算措置以外に、ジンジャ職業訓練校に対する予算措置も実施するなど、プロジェクト成果を普及させる意識が高い。

3-3 効果発現に貢献した要因

（１）計画内容に関すること

本プロジェクトで対象とされた訓練分野は、ウガンダでの指導員訓練ニーズ調査に基づき選定されている。技術移転項目が適切に選択されたことで、限られた投入で、より高い訓練効果を得ることが可能となった。

（２）実施プロセスに関すること

過去のウガンダとわが国の協力関係の蓄積もあり、C/P とプロジェクト専門家との間に信頼関係が構築されていることが、プロジェクトの円滑な実施につながっている。また、長年の協力を通じて、ナカワ職業訓練校が人材面及び施設・機材面において高い訓練実施能力を備えていることも、効果発現に寄与している。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

訓練に必要な機材の本邦調達に時間がかかり、現地到着が遅れたことや、管理者マスタートレーナーの本邦研修の実施に調整を要した結果、プロジェクト活動に遅延が生じた。活動の遅延に対しては、専門家の追加派遣による対応を行った。

(2) 実施プロセスに関すること

本プロジェクトを通じて指導員・管理者訓練システムの基礎は構築される見込みである一方で、指導員・管理者資格の確立（MoES による認定）が進んでいない。自立発展性の観点からも、プロジェクトで実施する訓練と資格認定が乖離しないようウガンダ政府内での認定手続きの動向を注視していく必要がある。

3-5 結論

日本側の投入の遅れにより、プロジェクト活動に一部遅延が生じたものの、C/P とプロジェクト専門家の尽力により、改訂された活動計画（Plan of Operations : PO）に基づき順調に活動が実施されている。全体としては、プロジェクトの活動を通じて、訓練サイクルの基盤はナカワ職業訓練校において着実に構築されつつあり、プロジェクト期間中に目標をおおむね達成すると結論づけることができる。

指導員・管理者訓練の UVQF 上での位置づけが明確化され、また、ナカワ職業訓練校等に対し必要な予算措置が取られれば自立発展性はより高まる。

3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

(1) 指導員・管理者訓練の質の向上のための取り組みの継続

計画・実施・評価の訓練サイクルを重ね、訓練の恒常的改善に取り組むことが望ましい。特に DVTI 訓練と DTIM 訓練は、プロジェクト期間中の実施が 1 回のみとなることから、先行する CVTI 訓練での経験を生かした取り組みが望まれる。

(2) 指導員・管理者訓練の実施体制の強化

一般の訓練生を対象とした通常訓練に加え、指導員・管理者訓練を実施するナカワ職業訓練校の負荷軽減のため、組織体制の強化と適切な人員配置及び施設・機材の整備が求められる。

(3) 指導員の技術力向上

プロジェクト終了後は C/P 独自で技術力を向上していく必要がある。特に DVTI 訓練の講師となるマスタートレーナーは、最新技術を含め高い技術力を有することが求められるため、産業界との連携を通じた技術向上の取り組みが期待される。

(4) UVQF の枠組みに準拠した資格の付与

プロジェクトで実施する指導員・管理者訓練の UVQF に基づく位置づけの明確化が望まれる。第 2 回 CVTI 訓練修了者に対する確実な認定証の発行も望まれる。

(5) 指導員・管理者訓練に係る予算確保

協力終了後はウガンダ側で独自に指導員・管理者訓練を実施していく必要がある。特に

施設・機材の更新及び維持管理に要する費用を含む訓練の運営・実施にかかる予算については、MoESにより継続的に確保されることが望まれる。

3-7 教訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

（1）相手国政府の政策・制度構築との関連性

資格整備に関しては、日本側で関与可能な範囲には限界があり、先方政府の実施能力が課題となる。資格整備と連動させ実施するプロジェクトにおいては、先方政府の取り組み動向を注視し、見極めながら、協力計画を検討することが望ましい。

（2）過去の日本の協力成果を活用した協力の有効性

本プロジェクトで取り組んだ「指導員訓練システムの構築」は、ナカワ職業訓練校のキャパシティ及び信頼関係に基づくC/Pの積極的な参画があったため、協力事業全般としては非常に円滑に実施することができた。過去の日本の協力のアセットを活用した協力が有効に機能した例であるといえる。協力の積み重ねは、プロジェクトの可能性をより拡大させるとともに、日本として同分野の事業展開を行うにあたり、開発パートナーとしての第三国リソース育成の点でも有効に機能する。

終了時評価調査結果要約表（英文）

I. Outline of the Project		
Country: Uganda		Project title: The Project for Instructors Training for Vocational and Training
Issue/Sector: Technical Vocational Education and Training		Cooperation scheme: Technical Cooperation Project
Division in charge: Technical and Higher Education Division, Higher Education and Social Security Group, Human Development Department		Total cost: Approximately 260,000,000 JPY
Period of Cooperation	3.3 Years (June 2007-August 2010)	Partner Country's Implementing Organization:
		Supporting Organization in Japan:
<ul style="list-style-type: none"> • Nakawa Vocational Training Institute • Ministry of Education and Sports 		
<ul style="list-style-type: none"> • Ministry of Health, Labour and Welfare • Employment and Human Resources Development Organization of Japan 		
<p>1. Background of the Project</p> <p>The Education Sector Strategic Plan 2004-2015 for Uganda emphasizes the importance of capacity development of teachers and instructors in the post-primary sector. This is because the number of the student who enter the post-primary education institutes, including TVET institutions, is estimated to be expanded under the UPE strategy introduced in Uganda in 1997.</p> <p>However, most instructors in TVET sector in Uganda don't have enough skills. Under such circumstance, the needs to train instructors as well as managers according to the Uganda Vocational Qualification Framework (UVQF) so that the quality of institutions in TVET sector is improved are identified.</p> <p>Nakawa Vocational Training Institute (NVTI) which is in Kampala, a capital city of Uganda, has played a mentoring role to other vocational training institute inside and outside Uganda through grant-aid and technical cooperation by Japan. Therefore, government of Uganda requested government of Japan to conduct technical cooperation project to train instructors and managers utilizing NVTI.</p> <p>Through this technical cooperation project, the concept of new qualification and training system for the Ugandan vocational training instructors and managers has been establishing. The new qualification includes Certificate in Vocational Training Institution: CVTI¹, Diploma in Vocational Training Institution: DVTI² and Diploma in Training Institution Management: DTIM, which is based on UVQF.</p> <p>2. Project Overview</p> <p>(1) Overall Goal</p> <p>BTvet institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>		

¹ CVTI is a qualification for the instructors. The Project selected Electronics, Metal Fabrication, Motor Vehicle, and Electricity, as the subject of the CVTI and DVTI training programs.

² DVTI is a qualification for the master instructors who conduct CVTI training. The project selected the same four subject as CVTI.

under-implementation, the results of the survey for CVTI training conducted by the Project showed the average of 98.5% satisfaction among the participants and their supervisors of the previous CVTI training program. The number of instructors who complete CVTI training is estimated at 100 by the end of the project.

3) Output 3: Training cycle for managers is established.

Part of the targets for the Output 3 are achieved.

The first DTIM training program is under implementation by the master trainers trained in Japan. The curriculum and teaching materials have developed by trial and error, but they are still to be revised through the future training evaluation and satisfaction survey. The number of instructors who complete DTIM training is estimated at 24.

(2) Achievement of the Project Purpose

The training system of CVTI, DVTI and DTIM are gradually established by the effort to incorporate the lesson learned through the previous programs into the on-going programs. In addition, it is considered that training program are well designed for suiting the level of trainees, at least CVTI training whose examination pass rate is over 80%. Taking into consideration the result of the satisfaction survey of CVTI training and the interview in this terminal evaluation, the quality of the instructor and manager training program seems to satisfying the instructor's needs.

For these reasons, the project purpose is most likely to be achieved.

3-2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance

The relevance of the Project is judged to be high because of the following reasons:

- The MoES emphasizes the importance of improving the quality of instructors at post-primary education level. Additionally, the MoES expresses its expectation that the vocational training institutes, technical institutes and colleges in Uganda are able to provide practical skills and knowledge that meet the needs of the labor market of Uganda.
- The need for instructor and manager trainings continues to be high in Uganda. The labor market of Uganda is rapidly expanding, and is in need of semi-skilled and skilled workers especially.

(2) Effectiveness

The project effectiveness is assessed as high because of the reasons shown below:

- The concept of CVTI, DVTI and DTIM were developed by the Project. CVTI, DVTI and DTIM training programs have been planned and conducted under the Project. The satisfactory survey shows the instructors and their supervisor are satisfied with the training programs. The performance survey shows the effect of the each training programs. These facts identify training system is mostly established, therefore, the project purpose will be achieved.

(3) Efficiency

The project efficiency is judged as high to a certain degree according to the following findings:

- The counterpart personnel area demonstrating a high level of commitment and performance in regard to the project implementation. Those who have been trained in Japan have been applying the skills and knowledge further developed during the counterpart training.

- Though the timing of the inputs from the Japanese side was delayed, which resulted in the change in the Project in the course of the implementation, another long-term expert (Technical Advisor) was deployed to the Project to compensate for the delay.

(4) Impact

The following impact is expected to be found:

- Achievement of the overall goal: Jinja VTI is under rehabilitation and expansion. After the completion of such rehabilitation and expansion, Jinja VTI will also conduct the CVTI training program in collaboration with NVTI.
- Positive impact: Other developing partners such as African Development Bank, World Bank, have begun providing some form of assistance in the BTVET sector or shown interest in supporting the sector. The effective donor coordination shall contribute in the increased number of higher-quality instructors and managers at BTVET institutions.

(5) Sustainability

The sustainability of the Project is assessed as high if adequate financial and human resources are allocated to NVTI and other VTIs concerned by government of Uganda.

- NVTI will be able to maintain and utilize the skills and knowledge transferred by the Japanese experts with its strong ownership and capacity.
- NVTI will continue to maintain the equipment appropriately with the solid maintenance system.
- The implementation system of the instructor and manager training programs in NVTI's will be strengthened if the budget for NVTI is allocated.
- The commitment of MoES toward the expansion of the Project effect is high. They proposing budget for NVTI and Jinja VTI for its rehabilitation.

3-3 Factors promoting better sustainability and impact

(1) Factors concerning to Planning

The needs survey was conducted under the Project to understand the market needs of Uganda in regard to technical and vocational training. Based on the survey results, the training subject was chosen. Choosing appropriate subject contributes to maximum the training effect with the minimum input.

(2) Factors concerning to the Implementation Process

The Project counterparts and Japanese experts have built a trusting relationship and NVTI has built strong capacity of implementing the vocational training based on the ex-Japanese technical cooperation. This influenced the smooth operation of the Project and promoting better impact.

3-4 Factors inhibiting better sustainability and impact

(1) Factors concerning to Planning

The delay of timing of the inputs from the Japanese side resulted in the change in the Project in the course of the implementation. In order to compensate for the delay, Technical Advisor was deployed to the Project.

(2) Factors concerning to the Implementation Process

The establishment of base of the system of CVTI, DVTI and DTIM training is likely to be achieved through the Project activities. On the other hands, the establishment as a qualification of CVTI, DVTI and DTIM is not yet approved by MoES. The procedure of the approval by MoES should be watched in terms of the sustainability of the Project.

3-5 Conclusion

Based on the results of the 5 Evaluation Criteria, it was confirmed that the achievement of the 3 outputs set for the Project will result in the achievement of the project purpose. The Project is implementing its activities as per the revised PO. The project outputs are most likely to be achieved. Therefore, the project purpose is highly expected to be achieved by the end of the project period.

3-6 Recommendations

The recommendations to the Ugandan side from the Terminal Evaluation Team are as follows:

(1) Quality assurance mechanism of CVTI, DVTI and DTIM training programs

Quality of the textbooks and lesson plans used in the CVTI, DVTI and DTIM training programs should be improved by conducting regular monitoring and review.

(2) Strengthening of instructors and managers training programs implementation structures

Manpower of NVTI and other concerned VTI should be increased to conduct instructors and managers training programs in an effective manner.

(3) Improvement of the skills of instructors and managers

The trained instructors and managers should be supported to maintain and upgrade their capacity.

(4) Authorization of CVTI, DVTI and DTIM training programs based on the UVQF

CVTI, DVTI and DTIM training programs should be leveled based on the UVQF. The CVTI certificate should be issued to the participants of the 2nd CVTI training program.

(5) Allocation of budget for the CVTI, DVTI and DTIM training programs

Adequate budget should be allocated to cover upgrading and maintenance of the facilities and equipment of the concerned institutions as well as the training programs.

3-7 Lessons Learned

(1) Cooperation for policy and institution building

Policy and institution building is ultimately matter of the partner country. Therefore, there is difficulty in cooperating for policy and institution building as our cooperation scope is limited. If we conduct such cooperation, we need to judge what we can do for them and make a cooperation plan carefully through watching the development of the partner country.

(2) Utilizing the asset of built up cooperation from the past

The project, aiming at establishing instructors and manager training system, hasn't been successfully conducted without NVTI's high capacity, commitment, and trusting relationship based on the built up cooperation from the past. This project shows the good example that the asset of past cooperation bears

fruit. Such way of cooperation contributes to expand the possibility of the project and nurturing the cooperative recourse in the third country.

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ウガンダ共和国（以下、ウガンダ）では、1997年から進められてきた初等教育無償化政策による初等教育修了者の増加により、修了者の進学先の1つである商業・技術・職業教育訓練（Business, Technical Vocational Education and Training : BTVET）セクターの機能強化及び教員・指導員の能力強化の必要性が高まっている。ウガンダ BTVET セクターでは、職業全般を包括する職業資格制度（Uganda Vocational Qualifications Framework : UVQF）の導入により、職業に直結した教育・訓練の提供や、技能レベルを統一的な資格により整理するための取り組みを進めている。しかし、それら取り組みに対応する指導員は十分な技術力や資格を有しておらず、新資格制度に準拠した訓練を実施できる指導員の育成が課題となっている。

このような状況下、ウガンダ政府は、ナカワ職業訓練校を活用し、新しい資格制度の下で適切な訓練を行うことができる指導員の養成と、職業訓練施設で働く管理者のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした技術協力プロジェクトを日本国政府に対して要請した。ナカワ職業訓練校は、長年日本が協力を実施してきたウガンダの中核的訓練校であり、第三国からの研修員の受入経験を通じて国内のみならず、周辺国へも貢献可能な能力を備えた訓練校である。

JICA は、2006年4月から8月にかけて第一次事前評価調査及び第二次事前評価調査を実施し、ウガンダ政府関係機関とプロジェクトの具体的な協力内容に関する協議を行った。その結果、ナカワ職業訓練校を拠点に、ウガンダ国内の職業訓練指導員向けの資格〔職業訓練指導資格（Certificate in Vocational Training Instruction : CVTI¹）、及び職業訓練指導ディプロマ Diploma in Vocational Training Instruction : DVTI²〕、並びに職業訓練施設管理者向けの資格〔訓練機関管理ディプロマ（Diploma in Training Institution Management : DTIM）〕という UVQF の枠組みに準拠した新しい資格のコンセプトの構築と、各資格に対応する訓練システム（CVTI 訓練、DVTI 訓練、DTIM 訓練）³の構築を目的とするプロジェクトを開始することとなった。

プロジェクトは、2007年6月より3年3カ月の計画で実施されている。今般、プロジェクト終了を約半年後に控え、プロジェクトの進捗状況と評価5項目に基づいた評価及び今後の方向性に関する協議を行うことを目的に、終了時評価調査団が派遣された。

本調査団の目的の詳細は以下のとおりである。

- ① これまで実施した協力活動について当初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を確認し、問題点を整理する。
- ② 計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、ウガンダ側関係機関とともに、プロジェクトの評価を行う。
- ③ プロジェクトの直面している課題や今後の活動計画（Plan of Operations : PO）についてウガンダ側関係機関や専門家と協議し、中長期的な提言を行う。
- ④ 評価・協議結果をウガンダ側・日本側双方の合意事項として協議議事録（Minutes of Meeting : M/M）に取りまとめる。

¹ 一般指導員向けの資格。プロジェクトでは、電気、電子、金属加工、自動車の4分野の資格コンセプト案を作成した。

² CVIT 訓練の講師となるシニア指導員（マスタートレーナー）向けの資格。CVTI と同じ4分野を対象としている。

³ 本報告書においては、CVTI 訓練及び DVTI 訓練を「指導員訓練」、DTIM 訓練を「管理者訓練」とも記す。

1-2 調査団の構成と調査日程

小西 伸幸	団長	JICA 人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等・技術教育課長
木山 弘章	職業訓練	独立行政法人雇用・能力開発機構 企画部企画課 国際協力係長
井田 いづみ	協力企画	JICA 人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等・技術教育課
三谷 絹子	評価分析	アイ・シー・ネット株式会社 コンサルタント

調査日程は付属資料1を参照のこと。

1-3 対象プロジェクトの概要

1-3-1 基本計画

本プロジェクトの基本計画は以下のとおりである。

- (1) 協力期間：2007年6月～2010年8月（3年3カ月）
- (2) 協力相手先期間：（責任機関）教育・スポーツ省（Ministry of Education and Sports : MoES）
（実施機関）ナカワ職業訓練校
- (3) 上位目標：
ウガンダ国内の職業訓練校が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員・管理者を擁する。
- (4) プロジェクト目標：
ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される。
- (5) 成果：
成果1：新たな資格制度のコンセプトが構築される。
成果2：指導員訓練サイクルが確立する。
成果3：管理者訓練サイクルが確立する。

第2章 終了時評価の方法

2-1 評価の方法

終了時評価調査は、通常プロジェクトの終了6カ月前頃に実施される。日本側と相手国側が合
同で事前評価を経て計画されたプロジェクトの目標達成度を総合的に検証することを目的とす
る。終了時評価は、収集・整理・分析したプロジェクトの進捗状況や実績に関する情報に基づき、
プロジェクトの妥当性、効率性、有効性を重点的に検証するとともに、インパクトと自立発展性
についての見込みも検討する。終了時評価の評価結果は、調査団と相手国実施機関や関係機関と
協議・確認され、プロジェクトが抱える課題や移転された技術の継続方法を検討する際に活用さ
れる。

本プロジェクトの終了時評価調査は、「JICA 事業評価ガイドライン（改訂版）」に基づき計画し
た。本プロジェクトの中間レビュー調査で再確認・修正された目標、成果の指標、活動等を確認
対象データとし、プロジェクトの実績及び実施プロセスを取りまとめ、以下の5項目の観点から
評価を行った。

- ① 妥当性：プロジェクト実施の正当性、必要性、優先度や手段としての適切性を問う。
- ② 有効性：プロジェクト目標の達成予測やプロジェクトの効果を問う。
- ③ 効率性：成果の達成度やプロジェクトの効率性を問う。
- ④ インパクト：上位目標の達成予測やプロジェクトの長期的・波及的效果を問う。
- ⑤ 自立発展性：JICA の協力終了後の持続性を見込みを問う。

2-2 主な調査項目と情報・データ収集方法

調査項目は、2008年2月に実施した中間レビューにて改訂・合意されたプロジェクト・デザイ
ン・マトリックス（Project Design Matrix：PDM）のプロジェクト目標、成果に対応する各指標を
主に選定した。

データ収集に関しては、本プロジェクトの関係文献・報告書等を収集・レビューするとともに、
カウンターパート（Counterpart：C/P）、日本人専門家、指導員訓練の修了者、産業界、他ドナー
へのインタビュー等を通じて必要情報の収集を行い、本プロジェクトの実績を整理・分析を実行
した。調査項目とデータ収集方法の詳細は、付属資料4.「評価グリット」のとおりである。

第3章 プロジェクトの実績に関する調査結果

3-1 投入の実績

3-1-1 日本側の投入

(1) 専門家派遣

2007年6月のプロジェクト開始から、2010年2月の終了時評価調査時点までの日本人専門家派遣実績は表3-1のとおりである。CVTI訓練及びDVTI訓練の対象分野である、電気・電子、金属加工、自動車分野をはじめとし、合計15名（約73M/M）の専門家が派遣された。

供与機材の本邦調達に時間を要し、現地到着が遅れたことや、管理者訓練マスタートレーナー養成の本邦研修の実施時期が後ろ倒しとなったことによりPOが修正され、プロジェクトの後半に活動が集中する見込みとなったことから、中間レビュー後に長期専門家（職業訓練アドバイザー）1名を追加で派遣し、技術支援を手厚くすることで協力の質の確保に努めた。

表3-1 日本人専門家派遣実績

担当業務	派遣専門家数（名）
業務調整／プロジェクトマネジメント	2
職業訓練アドバイザー	1
資格整備／訓練計画（管理者）	1
本邦研修計画策定（資格整備）	1
訓練モニタリング（金属加工）	1
訓練モニタリング（電気・電子）	1
訓練モニタリング（自動車）	1
訓練計画（自動車）	1
本邦研修計画策定（自動車）	1
訓練計画（金属加工）	1
機械保全	1
訓練計画（電気・電子）	1
本邦研修計画策定（電気・電子）	1
本邦研修計画策定（金属加工）	1
合計	15

(2) 供与機材

指導員・管理者訓練の実施に必要な機材が日本側より供与された（現在までで総額約4,324万円）。供与された資機材は、プロジェクトによって適切に管理・活用されている。

(3) C/P 研修

C/P 研修のうち国別研修は、DVTI 訓練、DTIM 訓練の講師となるマスタートレーナーを育成する目的で実施され、合計 12 名が参加した。

また、C/P 研修の枠組みで、5 名の MoES 関係者が集団研修に参加した。

表 3-2 カウンターパート研修実績

種類	参加科目	参加者数 (名)
国別研修	自動車	2
	電子	2
	電気	2
	金属加工	2
	管理者	4
集団研修 (C/P 研修上乘せ)	職業能力開発行政セミナー	2
	職業訓練運営管理セミナー	3
合計		17

3-1-2 ウガンダ側の投入

(1) C/P 配置

ウガンダ側は、本プロジェクトで実施されている指導員・管理者訓練の担当部局である MoES の教員・指導員教育研修局 (Department of Teacher and Instructor Education and Training : TIET) とナカワ職業訓練校に所属する職員の合計 41 名を C/P として配置している。教育省の組織図 (ドラフト版) は付属資料 6 を参照のこと。

(2) 施設整備

日本人専門家の執務室、プロジェクトの訓練用の教室や実習室、実習器具等がナカワ職業訓練校から提供された。

(3) プロジェクト運営費

1) 指導員・管理者訓練の実施に係る経費

プロジェクト活動に必要な訓練用の教室・実習室、光熱費、水道代等をウガンダ側が負担した。

2) 資格整備に係る運営費

プロジェクトの運営には、図 3-1 のとおり MoES の 3 局が関係している。

プロジェクトで実施する指導員・管理者訓練の予算は、TIET 経由で確保される。一方、CVTI、DVTI、DTIM 等の資格整備に関しては、産業訓練局 (Directorate of Industrial Training : DIT) が担当部署となり、同局経由で予算が確保される。さらに、ナカワ職業訓練校の通常訓練 (訓練生向けの基礎訓練) に係る運営予算については、全国の職業訓練校を管轄する技術・職業教育訓練局 (Department of Technical Vocational Education and

Training : TVET) 経由で配布される。

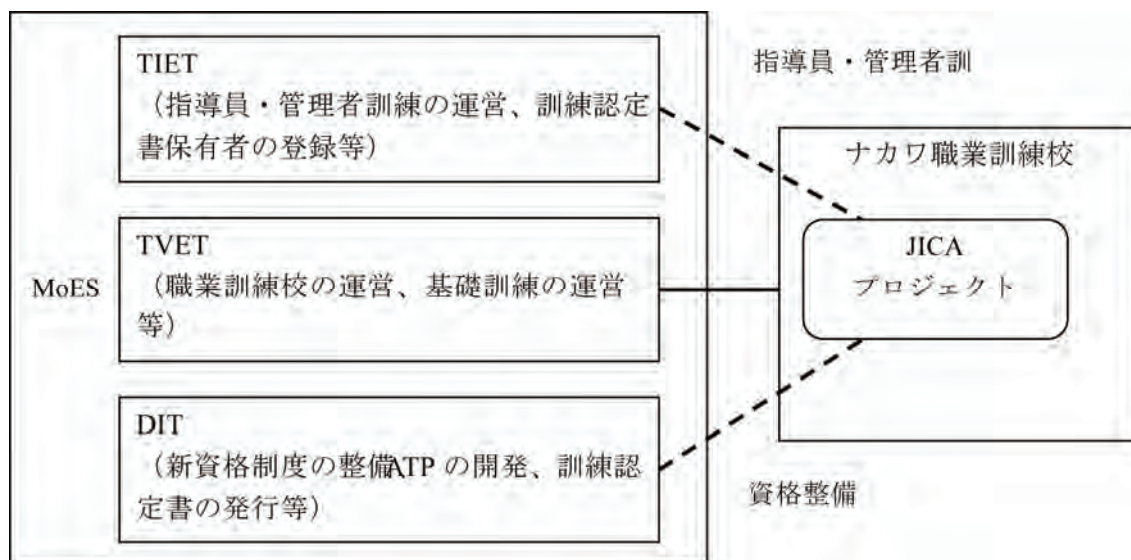


図3-1 プロジェクト運営関係部局

DITは、資格整備の担当部局として、UVQFに基づいた各資格のレベルづけと訓練評価パッケージ (Assessment Training Package : ATP) を開発することになっている (次ページ「UVQFとATP」参照)。しかし、人員不足と予算不足のため、レベルづけの決定やATPの開発が滞っている。ATPのうちプロジェクト活動に直接的に関係するツールの開発は日本側がプロジェクト予算を投入して行ったものの、残るツールの開発及びレベルづけを確定させるため、ウガンダ側の予算確保と人員体制整備を通じた早期実施が望まれる。

UVQF と ATP

UVQF は、2003 年から導入の検討がなされた職業訓練に関する資格制度であり、産業界ニーズと訓練のミスマッチを解消し、就職機会の拡大を目指す制度である。訓練の内容をより職業に直結したものにするため、各職種に必要な知識・技能をステップごとに詳細に分解、モジュール化して、効率的・効果的に技術を習得できる仕組みをつくとともに、訓練を通じて個人が習得した技能を客観的に示すため、技能レベルごとに統一的な資格を整備し、認定者に対して資格の付与を行うこととしている。

UVQF では、これらを行うためのツールとして、訓練評価パッケージ (ATP) を開発することとなっている。ATP は以下の 3 つの内容にて構成され、それぞれ所定の作業 (ワークショップ等) を通じて開発される。

(1) 職業プロフィール (Occupational Profile : OP)

職種に必要な知識・技能をプロファイリングしたもの。

(2) 訓練モジュール・カリキュラム (Modular Curriculum)

プロファイリングされた知識・技能を習得するための訓練モジュール。

(3) 評価手法 (Assessment Instrument)

所定の知識・技能を習得しているかを判断するための評価手法。

なお、UVQF の枠組みにのっとって構築される資格は、「レベルづけ」が行われ、レベルと学歴とが連動する仕組みとなっている。

UVQF に基づき資格整備を行っている指導員・管理者資格 (CVTI、DVTI、DTIM) の ATP の整備状況は表 3-3 のとおりである。このうち、CVTI、DVTI、DTIM のカリキュラムは、実質的にはプロジェクトで開発したものを各訓練で用いている。また、CVTI の評価手法についても、暫定的にプロジェクトにて開発したものが用いられている。しかし、これらツールが確立するためにはすべて MoES による認定作業が必要となっている。

なお、指導員資格の OP については、プロジェクトを開始した 2007 年 6 月時点で、ドイツ技術協力公社 (Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit : GTZ) の協力により、「Instructor」(指導員) の「指導技術」の部分が完成していた。しかし、「専門技術」に関するプロフィールが欠如していたため、JICA プロジェクト支援の下、2007 年 11 月にカリキュラム開発手法 (Development a Curriculum : DACUM) にのっとったワークショップを実施し、対象 4 分野の OP が開発・認定された。

表 3-3 プロジェクトに関する科目の ATP 開発の現状

(1) 指導員訓練

ATP		電気	電子	金属加工	自動車	
CVTI	職業プロファイル	指導技術	○	○	○	○
		専門技術	○	○	○	○
	訓練モジュール・カリキュラム	指導技術	△	△	△	△
		専門技術	△	△	△	△
	評価手法	指導技術	×	×	×	×
		専門技術	×	×	×	×
DVTI	職業プロファイル	指導技術	△	△	△	△
		専門技術	×	×	×	×
	訓練モジュール・カリキュラム	指導技術	△	△	△	△
		専門技術	△	△	△	△
	評価手法	指導技術	×	×	×	×
		専門技術	×	×	×	×

(2) 管理者訓練

DTIM	OP	△
	訓練モジュール・カリキュラム	△
	評価手法	×

※ ○は開発・認定済み、△は認定待ち、×は未開発。

3-2 活動の実績

供与機材の本邦調達に時間を要し現地到着が遅れたことや、管理者訓練マスタートレーナー養成の C/P 研修の実施時期が諸調整の結果後ろ倒しになったことから、DVTI 訓練及び DTIM 訓練の開始時期についても遅らせる必要が生じた。その結果、プロジェクト期間中に 2 回実施される予定であった DVTI 訓練と DTIM 訓練の実施が、期間中にそれぞれ 1 回のみの実施に変更された。

その他活動実績の詳細は、付属資料 3 を参照のこと。

3-3 成果の達成状況

(1) 成果 1「指導員・管理者の資格コンセプトが構築される」

指標：提案された資格制度が教育省で公式に審査される。

本プロジェクトでは、ウガンダにおける職業訓練指導員と職業訓練施設管理者向けの新資格として、CVTI、DVTI、DTIM の各資格のコンセプト案を作成した。同コンセプト案は、プロジェクトで実施したウガンダの訓練校に対するニーズ調査結果とウガンダ側との訓練内容

協議を踏まえて作成され、2009年2月にMoESに提出されている。プロジェクトで作成されたコンセプトペーパーは、MoES内幹部管理者会議（大臣、局長レベルが参加）でCVTIの認定に関する協議が行われた際に公式資料として取り扱われ、内容の検討がなされている。

一方で、プロジェクトで提案する新資格が制度として確立するためには、提案内容が審査されるだけでなく、MoESで承認される必要がある。ATPの開発状況と併せ新資格の認定状況をフォローしていく必要がある。

（2）成果2「指導員訓練サイクルが確立する」

1）CVTI 訓練実施状況

日本人専門家の協力の下、訓練カリキュラム及び教材⁴が開発された。訓練終了後には訓練評価が行われ、訓練内容の改善が図られている。これまでにCVTI訓練は2回実施され、計画・実施・評価を通じて訓練サイクルが定着しつつある。

CVTI訓練は本調査時まで以下のスケジュールにて実施された。

◆第1回 2008.7～2009.3 ー終了

参加者：35名（電子12名、自動車13名、金属加工10名）

修了者：29名（電子9名、自動車12名、金属加工8名）ーCVTI資格認定済

◆第2回 2009.1～2009.9 ー終了

参加者：39名（電子9名、電気10名、自動車10名、金属加工10名）

修了者：39名（電子9名、電気10名、自動車10名、金属加工10名）ーDITの認定待ち

◆第3回 2010.1～2010.9 ー実施中

参加者：40名（電子10名、電気10名、自動車10名、金属加工10名）

2）DVTI 訓練実施状況

DVIT訓練のカリキュラム・教材についても開発済みである。現在は第1回訓練が実施されている。同訓練は、中間レビュー以降のPOの修正の結果、プロジェクト期間中に実施されるのは1回だけとなった。第2回以降が円滑に実施されるためにも、先行するCVTI訓練の経験を生かしながら、第1回DVTI訓練の実施結果を丁寧に評価し、必要な改善を行う必要がある。

DVTI訓練の実施スケジュールは以下のとおりである。

◆第1回 2009.7～2010.3 ー実施中

参加者：29名（電子6名、電気6名、自動車9名、金属加工8名）

◆第2回は2010.7～2011.3の予定。

3）指標の達成度

指標：① BTVET機関の関係者80%以上が訓練制度に満足する。

② CVTI訓練を実施するのに十分な数のマスタートレーナーが養成される。

③ プロジェクト期間中に85名がCVTI訓練を修了する。

⁴ 訓練に必要な4点セットとして、①Lesson Plan/指導案、②Information Sheet/座学用テキスト、③Work Sheet/実習用テキスト、④Assignment Sheet/課題が、各分野にて開発されている。

① 指標 1：BTVET 機関の関係者 80%以上が訓練制度に満足する。

CVTI 訓練に関しては、2009 年 11 月に、第 2 回 CVTI 訓練修了者及び修了者の所属する施設への満足度調査を実施した。その結果、平均で 98.5%（西部地域と北部地域は 100%、東部地域は 98%、中央部地域は 96%）が「満足している」と回答した。また、CVTI 訓練参加者のパフォーマンス調査においては、すべての回答者から「知識・技術の両面で指導員としての技能向上が認められる」との評価を得ており、さらに「授業の運営、準備（教材作成）が訓練参加前より顕著に改善がみられる」、「実習場に整理・整頓・安全等、5S に関する掲示物も貼られるようになった」など具体的な訓練効果を挙げる声も寄せられている。加えて、今次終了時調査において CVTI 訓練のマスタートレーナーへのヒアングや訓練に関する既存資料の内容確認を通じて、訓練の準備・実施状況について調査したところ、いずれの科においても良好な準備・実施状況が確認された。これらから、CVTI 訓練は内容の伴った訓練が円滑に実施されていると判断される。

DVTI 訓練に関しては、現在第 1 回を実施中であるため、今次調査において満足度の客観的指標は入手することはできなかった。同訓練の満足度調査は、第 1 回目の訓練終了後の 2010 年 5～6 月に実施される予定である。

② 指標 2：CVTI 訓練を実施するのに十分な数のマスタートレーナーが養成される。

DVTI 訓練を通じて、CVTI 訓練の講師となるマスタートレーナーはプロジェクト期間中に 29 名養成される見込みである。DVTI 訓練の実施回数がプロジェクト期間中に 1 回にとどまるため、マスタートレーナーの養成人数は当初見込みより減ったものの、今後継続的に DVTI 訓練が実施されていくことで、マスタートレーナーの数も増え、十分な人数が養成されていくと見込まれる。

③ 指標 3：プロジェクト期間中に 85 名が CVTI 訓練を修了する。

2010 年 9 月に終了する第 3 回 CVTI 訓練の修了者を含めれば、100 名ほどが CVTI 訓練を修了する見込みである。

なお、CVTI 訓練修了者に対しては、MoES より CVTI 資格の認定が行われることになっている。第 1 回 CVTI 訓練の修了生 29 名に対しては、プロジェクトで開発された ATP のツールを用いて資格が付与されたものの、第 2 回 CVTI 訓練修了生 39 名に対しては、まだ MoES による認定が行われていない。今次調査において、第 2 回訓練の修了者に対する資格付与が早急に実施されるよう、MoES に申し入れを行った。

(3) 成果 3 「管理者訓練サイクルが確立する」

1) DTIM 訓練実施状況

DTIM 訓練についても、専門家の協力の下、カリキュラム及び教材が開発されているが、管理者訓練自体が前例の少ない分野であり、参考となる資料や教材が少ないなかでの作成作業であったため、内容については第 1 回目訓練実施後の見直しを通じて、大幅な改善が見込まれている。また、DTIM 訓練も PO の修正に伴いプロジェクト期間中の実施回数が 1 回だけとなったことから、プロジェクト期間中に可能な限りのフォローを

行う必要がある。

DTIM 訓練の実施スケジュールは以下のとおりである。

◆第1回 2009.8～2010.7－実施中

参加者：24名（応募者数69名）

◆第2回は2010.8～2011.7を予定。

DTIM 訓練に対しては、定員数を大幅に上回る応募があり（定員24名のところ応募者69名）、ウガンダ国内における同訓練への期待の高さがうかがえる。

2) 指標の達成度

指標：① BTVET 機関の関係者 80%以上が訓練制度に満足する。

② 管理者訓練を実施するのに十分なマスタートレーナーが養成される。

③ プロジェクト期間中に20名が管理者訓練を修了する。

① 指標1：「BTVET 機関の関係者 80%以上が訓練制度に満足する。」

DTMI は現在第1回目を実施中であり、満足度調査はまだ実施されていない。ナカワ職業訓練校での訓練終了（2010年5月）後の応用訓練／パフォーマンス評価期間（2010年6～7月）中に実施される予定である。

② 指標2：「管理者訓練を実施するのに十分なマスタートレーナーが養成される。」

4名のナカワ職業訓練校の指導員・管理職を選抜し、2回の本邦研修を通じてマスタートレーナーの養成を行った。現在、同4名がDTIM訓練を担当している。

管理者訓練をナカワ職業訓練校以外の訓練校で実施する計画は現在のところない。外部講師や補助講師の助けを得ながら管理者訓練を実施していくことを想定すると、4名は十分な数といえる。

③ 指標3：「プロジェクト期間中に20名が管理者訓練を修了する。」

POが修正され訓練が後ろ倒しとなったため、第1回管理者訓練の修了生が輩出するのは、厳密にいうとプロジェクト期間終了後となる。現在の参加者が訓練を修了すれば、指標の20名を超える人数が管理者訓練を修了することとなる。

3-4 プロジェクト目標、上位目標の達成状況

3-4-1 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：「ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される」

指標：① 職業訓練校関係者の80%以上が構築された指導員・管理者訓練システムに満足する。

② 訓練受講者の80%以上が各コースにおける最終試験に合格する。

③ ナカワ職業訓練校における訓練システムがMoESに承認される。

① 指標1：「職業訓練校関係者の80%以上が構築された指導員・管理者訓練システムに満足する。」

既述のとおり、これまでで満足度調査が実施されたのは CVTI 訓練のみであるが、同訓練の満足度調査では、回答者の 98.5%より「満足している」という高い評価を得ている。

DVTI 訓練や DTIM 訓練の満足度調査は、今後プロジェクト終了までに実施される予定である。その結果を踏まえ、必要に応じて訓練内容や使用教材の更なる見直し・改善が図られることが望ましい。

② 指標 2 : 「訓練受講者の 80%以上が各コースにおける最終試験に合格する。」

CVTI 訓練の合格率は、第 1 回が 82%、第 2 回は 100%となっており、CVTI 訓練に関しては受講者のレベルに合った適切な訓練が実施できていると判断される。

DVTI、DTIM 訓練の合格率は今後明らかとなる。合格率は訓練内容や訓練実施方法等の改善の検討材料となるため、今後の結果を注視していく必要がある。

指標 ③ : 「ナカワ職業訓練校における訓練システムが教育省に承認される。」

指導員・管理者訓練は MoES のコミットメントの下に実施されており、計画・実施・評価のサイクルを重ね、訓練システムとしての構築も進んでいる。

他方、UVQF に準拠した訓練・資格としての承認はまだなされておらず、今後の進捗を待つ必要がある。

3-4-2 上位目標の達成状況

上位目標 : 「ウガンダ国内の職業訓練校が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員、管理者を擁する」

指標 : ① 2015 年までに DVTI 保有者もしくは DVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 58 人に達する。

② 2015 年までに DTIM 保有者もしくは DTIM の構想に基づく知識・技術レベルを満たす管理者が 72 人に達する。

③ 2015 年までに CVTI 保有者もしくは CVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 346 人に達する。

ナカワ職業訓練校を活用した指導員・管理者向け訓練は現在のところ順調に実施されている。必要な改善が行われながら、今後も継続的に訓練が実施されていけば、知識・技術を有する指導員・管理者の数は拡大していくものと期待される。

他方、指標の達成見込みに関しては、今次調査において、上記 3 つの指標のうち、指標③の数値は過大であることが確認されたため、ウガンダ側と協議のうえ、③の人数を下方修正することとした。

指標③の数値は、2011 年よりナカワ職業訓練校以外の訓練校において CVTI 訓練が開始されることを想定した値が設定されている（上位目標の指標の算出根拠は表 3-4 参照）。しかし、今次調査において、CVTI 訓練実施候補とされていたジンジャ職業訓練校及びルゴゴ職業訓練校を視察したところ、両校とも訓練環境が整っておらず、2011 年の CVTI 訓練開始は難しいと判断された。ジンジャ職業訓練校に関しては、現在、アフリカ開発銀行（African Development

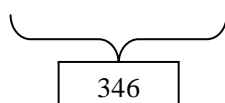
Bank : AfDB) の協力により施設の増築・改修が行われているが⁵、いずれにせよ 2011 年の完成は難しい見込みであった。

この現状を踏まえ、指標③の数値設定について MoES と協議を行った。その結果、MoES からは、他校において 2011 年から CVTI 訓練を開始することは難しいものの、2012 年からは開始できるよう必要予算を申請していく方針であること、また指標の数値はウガンダ側の努力目標となるため、何らかの数値は是非残しておきたいという強い意向が示された。この意向を受け、指標③に関しては、CVTI 訓練が 2012 年には開始されるという想定で、2011 年想定分の 40 名を減じた数値 (346 名→306 名) を新しい指標として設定することで合意した。

プロジェクト終了後も、同指標の達成を目標にウガンダ側が継続的に指導員・管理者の質向上のための訓練を継続させていくことを強く期待する。

表 3-4 上位目標指標の算出根拠 (変更前)

訓練修了年月	CVTI (ナカワ)	CVTI (他校)	DVTI	DTIM
プロジェクト終了まで	73		12	15
2010 年	40			
2011 年	40	40*	12	15
2012 年	40	40	12	15
2013 年	40	40	12	15
2014 年	40	40	12	15
2015 年 (8 月まで)			12	15
合計	273	160	72	90
上位目標の指標指数 (合計の 80%)	218	128	58	72



346

*変更後の指標は、2011 年の他校での修了見込み 40 名を削除し、306 名とした。

3-5 実施プロセス

3-5-1 プロジェクト運営

本プロジェクトは、ウガンダ側と日本側で良好な関係を築きながら円滑に運営されている。日本側の投入の遅れが生じた際には、訓練スケジュールの変更と日本人長期専門家 1 人の追加派遣で対応し、双方の運営体制の柔軟性と問題対処能力の高さがうかがえた。

3-5-2 プロジェクト実施過程で発生している課題・問題

本プロジェクトを通じて指導員・管理者訓練サイクルの基礎は構築される見込みである。一

⁵ AfDB はこの無償支援 (プロジェクト III) を通じて、ジンジャ職業訓練校と他 2 訓練校の施設修復や増築と APT の開発 (22 職種) を実施中である。プロジェクト III は 2010 年 12 月に終了する。

方で、指導員・管理者資格の確立（MoES による認定）が進んでいない。自立発展性の観点からも、プロジェクトで実施する訓練と資格認定が乖離しないよう動向を注視していく必要がある。

第4章 評価結果

「JICA 事業評価ガイドライン（改訂版）」に基づき、必要なデータと情報を収集、分析して、以下の5項目の観点から評価を行った。収集した調査データと情報の詳細は付属資料4.「評価グリット」を参照のこと。

4-1 評価5項目による調査結果

4-1-1 妥当性

本プロジェクトの妥当性は、以下の点から高いと判断する。

- (1) ウガンダ教育セクター戦略計画（Education Sector Strategic Plan : ESSP 2004～2015）において、経済成長を担う人材を育成するための職業訓練の重要性が協調されており、同分野支援はウガンダの開発戦略と整合している。
- (2) ウガンダ政府が1997年に導入した初等教育無償化政策の結果、初等教育後の受け皿の1つとなる BTVET 分野の体制強化及び提供する教育・訓練の質の強化の必要性が高まっている。
- (3) 成長著しいウガンダの産業界においてスキルを有する技術者が必要とされており、職業訓練校が質の高い訓練を提供できることが求められている。

4-1-2 有効性

本プロジェクトの有効性は、以下の点から高いと判断する。

- (1) プロジェクト目標は「ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される」であるが、成果1から成果3に係る活動を通じてプロジェクト目標の達成見込みは高い。
- (2) CVTI 訓練受講者のパフォーマンス評価において、訓練修了生とその上司が「指導員としての技術と知識が向上している」と回答しており、訓練効果が確認されている。

4-1-3 効率性

プロジェクトへの投入は、日本側・ウガンダ側ともに以下の点からおおむね効果的に行われていると判断する。

- (1) ウガンダ側の C/P は、プロジェクトに対する主体性が強く適切な人材が配置されている。
- (2) 本邦研修の実施により、C/P のプロジェクトに対するコミットメントが強化され、また日本で習得した知識や経験が、指導員・管理者訓練の計画・実施に生かされている。

(3) プロジェクトの後半で長期専門家（職業訓練アドバイザー）を投入したことにより技術面での支援が強化され、供与機材等の投入の遅れによるプロジェクト活動の大幅な遅延を回避することができた。

(4) ただし、供与機材や本邦研修投入の遅れはプロジェクト期間中の DVTI 訓練、DTIM 訓練の実施回数減につながり、効率性を阻害した。

4-1-4 インパクト

本プロジェクトは、以下の点から上位目標を達成する見込みがあるとともに、正のインパクトの発現が期待できる。

(1) CVTI 訓練の実施拠点校として候補に挙がっているジンジャ職業訓練校において、AfDB の支援により校舎の修復・増築工事が開始されているほか、MoES による予算申請も行われていることから、2011 年以降は同校においても CVTI 訓練を開始できる見込みが高い。ジンジャ職業訓練校での CVTI 訓練が順調に開始されれば、本プロジェクトの上位目標達成見込みは高まる。

(2) 現在、AfDB、GTZ、世界銀行等がウガンダの BTVET 分野への支援を実施または実施の検討をしている。ドナー協調が効果的に行われることで、プロジェクト成果が活用され、正のインパクトが発現されることが予測される。

4-1-5 自立発展性

本プロジェクトの自立発展性は、以下の点から高いと判断する。

(1) ナカワ職業訓練校は、日本の長年の支援を通じて高い技術力を備えていることに加え、試行錯誤を重ねて訓練の改良努力を行うなど主体性も非常に強い。プロジェクト終了後も、移転された技術や知識を維持・活用していく実力を備えている。

(2) 同校においては、保有する訓練機材を丁寧に活用し、適切に維持・管理している。倉庫管理者及び各科長の責任体制が構築されており、プロジェクトで供与した機材の維持・管理が今後も継続的に行われていくと見込まれる。

(3) ナカワ職業訓練校は、指導員・管理者訓練を継続的に実施する体制強化のため、指導員・管理者訓練を担当する新部署の設立及び人員の増員を計画しており、MoES もこの申請を承認している。予算・人員措置の承認が下りれば、実施体制がより強化される見込みである。

(4) プロジェクトに対する中央政府レベルでのコミットメントは高く、上述のナカワ職業訓練校に対する予算措置以外に、ジンジャ職業訓練校に対する予算措置も計画するなどプロジェクト成果を普及させるための意識が高い。

なお、今後指導員・管理者訓練がウガンダ国内で定着していくためには、CVTI、DVTI、DITM 資格の UVQF に基づいた資格認定が重要なステップとなる。資格制度としての承認が得られれば、自立発展性はより高まると見込まれる。加えて、ナカワ職業訓練校の実施体制強化やジンジャ職業訓練校での CVTI 訓練実施のための予算措置も自立発展性に大きく影響するため、確実に確保されていくことが望まれる。

4-2 結論

こうした評価結果より、調査団としては以下のように判断した。

- (1) 日本側の一部投入の遅れにより、プロジェクト活動は後ろ倒しになったものの、C/P とプロジェクト専門家の尽力により、中間レビュー以降も改訂された PO に基づき順調に活動が実施されている。指導員・管理者訓練の UVQF 上での位置づけはまだ確立されていないものの、プロジェクト期間中の活動を通じて、訓練サイクルの基盤はナカワ校において着実に構築されつつあり、プロジェクト目標は達成される見込みである。
- (2) 専門家による技術移転を通じて、ナカワ職業訓練校は指導員・管理者訓練を実施する能力を着実に備えてきている。また、MoES 側も、プロジェクト成果の普及に対する意識が高く、同訓練が継続的に実施されるための予算措置を申請している。ナカワ職業訓練校及び MoES によって今後も指導員・管理者訓練が継続的に実施される可能性は高く、自立発展性は高いと判断される。
- (3) 残された課題として、一定の質が担保された指導員訓練をウガンダ国内で普及させていくために、指導員・管理者訓練が UVQF 内での資格制度として承認されることが必要とされる。また、ナカワ職業訓練校とほかの訓練校との技術力や施設・機材のギャップを埋めていく必要がある。これらが改善されていくことで、プロジェクトの自立発展性はより高まると思料する。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

5-1-1 指導員・管理者訓練の質の向上のための取り組みの継続

指導員・管理者訓練の準備・実施状況は良好であり、着々と訓練の形ができあがりつつあるが、訓練の質の維持と向上には、プロジェクトで取り組んだ計画・実施・評価の訓練サイクルを今後も継続的に実施していくことが不可欠である。特に DVTI 訓練と DTIM 訓練はプロジェクト期間中の実施が1回にとどまるため、先行する CVTI 訓練での経験を生かしながら訓練の質の向上に向けた継続的な取り組みが望まれる。

5-1-2 指導員・管理者訓練の実施体制の強化

ナカワ職業訓練校では、従来から実施している一般の訓練生を対象とした基礎訓練に加えて、プロジェクト開始後は指導員・管理者訓練の実施機関としての新たな役割も担うことになった。しかし、新たな役割に対応するための人員配置は微増にとどまっており、ナカワ職業訓練校への負荷が大きくなっている。ナカワ職業訓練校では、指導員・管理者訓練のための新しい部署を立ち上げるべく組織の改編及び人員の追加を計画しているが、これが確実に実施されることが望ましい。また今後、ナカワ職業訓練校以外の訓練校でも指導員訓練を実施していくための組織体制の強化と適切な人員配置及び施設・機材の整備が求められる。

5-1-3 指導員の技術力向上

プロジェクト期間中は、日本人専門家や本邦研修を通じた技術移転の場があったが、プロジェクト終了後は日本からの投入が終了するため、C/P 独自で技術力をアップデートしていく取り組みが必要である。特に DVTI 訓練を実施するマスタートレーナーは、最新技術を含めた高い技術力を有することが求められるため、産業界との連携を通じた技術向上の取り組みが行われることを期待する。

5-1-4 UVQF の枠組みに準拠した資格の付与

指導員・管理者訓練サイクルの構築は進むものの、UVQF 上での資格に対する位置づけがまだ不明確である。DIT による ATP の開発そして UVQF 上での資格の認定が早急に取り組まれることが望まれる。また、第2回 CVTI 訓練修了者に対する認定証の発行も確実に進められることが望まれる。

5-1-5 指導員・管理者訓練に係る予算確保

協力終了後は日本の投入は終了し、ウガンダ側で独自に指導員・管理者訓練を実施していく必要がある。特に、施設・機材の更新及び維持管理に要する費用を含む訓練の運営・実施に係る予算については、MoES により継続的に確保されることが望まれる。

5-2 教訓

5-2-1 相手国政府の政策・制度構築との関連性

本プロジェクトでは、ウガンダにおいて UVQF の構築が進む状況にかんがみ、指導員・管理

者訓練のシステム構築とともに資格コンセプトの構築に関する協力を実施した。プロジェクト成果の持続性のためには、当該国の正規の資格制度上に位置づけられることが重要である。

しかしながら、資格制度上に位置づけられるための整理や認定に関しては、プロジェクトで一定程度支援はできても、多くは当該国政府の所掌範囲となり、当該国政府における取り組みのプライオリティーや実施能力が進捗に大きな影響を与える。本プロジェクトにおいても、CVTI、DVTI、DTIMの訓練コンセプト案を作成し、現場では実際の訓練が行われているものの、担当部局の変更や、ツールの開発に時間を要し認定が進まないなど、資格としての確立にまだ不安な要素が残存する。

予算や人員不足など当該国のやむを得ない事情はあるが、本プロジェクトのような現場支援を中心とする協力を行う場合は、そうした政府活動の遅延がプロジェクト活動の成果の発現に影響を及ぼす可能性があることを念頭に、そうした影響が極力プロジェクト活動に負の影響を及ぼさないよう、協力計画を立てる工夫が必要である。

5-2-2 過去の日本の協力成果を活用した協力の有効性

わが国は、ナカワ職業訓練校の設立当初より、長年にわたり同校に対して協力を実施してきた。無償資金協力を通じて施設・機材の拡充を行うとともに、これまでの技術協力プロジェクトにて、指導員の指導力強化や訓練コースの改善、資機材の維持管理体制の強化を支援し、ハード・ソフトの両面で同校の職業訓練校としてのキャパシティ強化に協力してきた。こうした長年の取り組みの成果もあり、同校はウガンダ国内屈指の職業訓練校に成長し、国内のほかの訓練校並びに第三国の職業訓練機関へも貢献可能なキャパシティを備えるに至っている。またそれと同時に、一連の協力により、ウガンダ側・日本側の双方の関係者の間で強い信頼関係が構築されたことも、協力の積み重ねを通じた特筆すべき成果といえる。

本プロジェクトで取り組んだ「指導員訓練システムの構築」は、同校のキャパシティ及び信頼関係に基づくC/Pの積極的な参画により、一部投入に遅れはあったものの、協力事業全般としては非常に円滑に実施することができた。過去の日本の協力のアセットを活用した協力が有効に機能した例といえる。協力の積み重ねは、プロジェクトの可能性をより拡大するとともに、日本として同分野の事業展開を行うにあたり、開発パートナーとしての第三国リソース育成の点でも有効に機能する。今後も同校と築いた信頼関係を大切にし、また定着した技術を見守りながら協力関係を継続していくことが望ましい。

付 属 資 料

1. 調査日程
2. 主要協議関係者・面談者一覧
3. 協議議事録 (M/M)
4. 評価グリッド (ドラフト1)
5. カウンターパート (C/P) への質問票
6. 教育・スポーツ省 (MoES) 組織図

1. 調査日程

			評価分析	職業訓練	協力企画	団長
1	1/30	土	AM PM	羽田 19:50発		
2	1/31	日	AM PM	エンテベ 14:45着		
3	2/1	月	AM	8:30 ウガンダ事務所打ち合わせ 10:00 プロジェクト専門家インタビュー		
			PM	プロジェクト専門家インタビュー		
4	2/2	火	AM	9:00 企業視察(Cooper Motors Co.) 10:30 企業視察(Century Bottling Co.)		
			PM	14:30 企業視察(Toyota Uganda Ltd.) 16:00 企業視察(Roofing Ltd.)	羽田 19:50発	
5	2/3	水	AM	9:00 GTZ インタビュー 11:00 AfDB インタビュー		
			PM	18:00 BTC インタビュー	エンテベ 14:45着 (国内打ち合わせ)	
6	2/4	木	AM	9:00 NVT視察 (NVT対象科 科長へのインタビュー)		
			PM	14:00 NVT訓練状況の視察 (CVT訓練状況、など)		
7	2/5	金	AM	Jinja VTI(Jinja)視察		
			PM	(08:00 カンパ行発、10:00 視察、15:00 カンパ行着)		
8	2/6	土	AM PM			羽田16:05発
			AM PM	17:00 事務所打合せ		エンテベ14:45着
10	2/8	月	AM	9:00 Lugoga VTI視察、インタビュー (公立校、CVT訓練受講者は3名/電子、電気、金属加工) 11:00 Namulanda TI視察、インタビュー、授業観察 (私立校、CVT訓練受講者: Opiu Henry/電子)		
			PM	14:00 Nakawa VTIのCVT訓練受講者(Apire W./電子、Kibirige N./自動車)による基礎訓練の授業観察		
11	2/9	火	AM	9:00 MoES (PS, DIT, TIET, TVET, EPPA)表敬、評価内容検討		
			PM	14:15 個別協議(DIT/資格整備) 16:00 個別協議(TIET/訓練)		
12	2/10	水	AM	9:00 個別協議(TIET, TVET/予算)		
			PM	ミニッツ作成		
13	2/11	木	AM	9:00 ミニッツ協議(TIET, DIT, TVET)		
			PM	ミニッツ作成		
14	2/12	金	AM	9:00 JCC会議 12:00 ミニッツ署名		
			PM	15:00 ウガンダ事務所報告		
15	2/13	土	AM PM	エンテベ 18:20発		
			AM PM	羽田 19:55着		

2. 主要協議関係者・面談者一覧

1. ウガンダ側関係者

組織	氏名	役職
Ministry of Education and Sports	Mr. Francis X Lubanga	Permanent Secretary
	Eng. H. F. Okinyal	Commissioner, Business, Technical, Vocational Education Training Department (BTJET)
	Mr. Ilahi Mansoor	Assistant Commissioner, Technical Education, Business, Technical, Vocational Education Training Department (BTJET)
	Mr. Masolo Sam Jasper	Director, Directorate of Industrial Training (DIT)
	Ms. Stel Kyobe	Deputy Director, Qualification Standard. Directorate of Industrial Training (DIT)
	Mr. Godfrey A. Dhatemwa	Commissioner, Department of Education Planning and Policy Analysis (EPPA)
	Dr. Jane Egau Okou	Assistant Commissioner, Instructor /Tutor Education, Department of Teacher Instructor Education and Training (TIET)
Nakawa Vocational Training Institute	Mr. Musoke Matovu	Principal
	Mr. Kiwanuka Mukumbi C.	Deputy Principal (Administration)
	Mr. Muwanga F.	Deputy Principal (Training)
	Mr. Oteka Albino	Training Manager
	Mr. Omoo F.	Head of Department, Electronics
	Ms. Asiimwe L.	Head of Department, Electricity
	Mr. Mubiru D.	Head of Department, Motor Vehicle
	Mr. Mafabi Peter	Head of Department, Sheet Metal
	Mr. Mayanja F.	Head of Department, Welding
Jinja Vocational Training Institute	Mr. Mwesigye Gerge Shillingi	Principal
	Mr. Mukasa Emmanuel Samuel	Deputy Principal
Lugogo Vocational Training Institute	Mr. Mugisha Alexander	Principal
Namulanda Technical Institute	Ms. Bukrwa Cathy	Principal
African Development Bank (AfDB)	Dr. Jason Mochache	Education Sector Specialist
Belgian Technical Cooperation (BTC)	Ms. Rose Athieno Kato	Programme Officer
German Technical Cooperation (GTZ)	Mr. Detlef Betz	Chief Technical Advisor, PEVOT
	Mr. Gerhard J. Kohn	Consultant (UVQF), PEVOT
World Bank	Ms. Sukhdeep Brar	Senior Education Specialist
Century Bottling Company Limited (Coca Cola)	Ms. Irene Nabaggala	Training & Improvement Project

Uganda)		
The Cooper Motor Corporation (U) Ltd	Mr. Enock Zikamberaho	Personnel/Administration Manager
ROOFINGS LTD.	Mr. Naveen Krishnan	General Manager
	Mr. Sheikh Arif	Factory Manager
	Mr. Mukooli Denis Tonny	Production Manager
TOYOTA UGANDA LTD	Mr. Ian Walker	Managing Director
	Mr. Futsum Yosef	Training Manager
	Mr. Paul Rumanda Rugambwa	Human Resources Advisor

2. 日本側関係者

組織	氏名	役職
JICA ウガンダ事務所	関 徹男	所長
	土井 ゆり子	職員
	後呂 依希	企画調査員
プロジェクト専門家	牧野 丞	プロジェクトマネジメント／業務調整
	梅本 清	資格整備支援／訓練管理／訓練計画(管理者)

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE MINISTRY OF EDUCATION AND SPORTS
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF UGANDA
AND
THE JICA TERMINAL EVALUATION TEAM
ON
THE PROJECT FOR INSTRUCTORS TRAINING
FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING**

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) organized the Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”), headed by Mr. Konishi Nobuyuki, from January 31, 2010 for the purpose of the terminal evaluation on the Project for Instructors Training for Vocational Education and Training (hereinafter referred to as “the Project”).


During its stay in Uganda, the Team had series of discussion with the authorities concerned, jointly reviewed the achievements of the Project, and exchanged views on the project performance based on five criteria for the project evaluation.

As a result of the discussions, the Team and Ugandan authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Kampala, February 12, 2010



Mr. Konishi Nobuyuki
Team Leader
The Terminal Evaluation Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Francis X. K. Lubanga
Permanent Secretary
Ministry of Education and Sports
The Republic of Uganda

**Project for
Instructors Training for Vocational Education and Training**

Terminal Evaluation Report

February 2010

TABLE OF CONTENTS

List of Abbreviations

1. Introduction

- 1.1 Preface
- 1.2 Objective of Evaluation
- 1.3 Methodology of Evaluation
- 1.4 Members of the Terminal Evaluation

2. Project Performance and Implementation Process

- 2.1 Input
- 2.2 Achievement of the Project
- 2.3 Implementation Process of the Project

3. Result of the Terminal Evaluation

- 3.1 Result of Evaluation in terms of five criteria
- 3.2 Conclusion

4. Recommendations

ANEXXES

- 1. Project Design Matrix (PDM) Ver.3
- 2. Inputs to the Project
 - 2-1 List of Japanese Experts
 - 2-2 List of Participants for Counterpart Training
 - 2-3 List of Equipment Provided by JICA
 - 2-4 List of Counterpart Personnel
 - 2-5 Training Expenditure
- 3. Evaluation Grid
 - 3-1 Achievement of the Project
 - 3-2 Evaluation by Five Criteria

List of Abbreviations

AfDB	African Development Bank
ATP	Assessment Training Package
BTEVTE	Business, Technical Vocational Education and Training
BTC	Belgium Technical Cooperation
CVTI	Certificate in Vocational Training Instruction
DIT	Directorate of Industrial Training
DTIM	Diploma in Training Institution Management
DVTI	Diploma in Vocational Training Instruction
GTZ	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit
JICA	Japan International Cooperation Agency
KOICA	Korean International Cooperation Agency
MoES	Ministry of Education and Sports
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan on Operation
R/D	Record of Discussion
TIET	Teacher and Instructor Education and Training
TVET	Technical and Vocational Education and Training
UPE	Universal Primary Education
UVQF	Uganda Vocational Qualification Framework
VTI	Vocational Training Institute
WB	World Bank

1. Introduction

1.1 Preface

The Project was launched on 1 June, 2007 and its duration is expected to be three (3) years and three (3) months. With remaining project period of about six (6) months, JICA dispatched the Team to the Republic of Uganda from 31 January to 13 February, 2010 for the purpose of evaluating the achievement of the Project.

1.2 Objective of the Terminal Evaluation

The objectives of the terminal evaluation are as follows:

- 1) to review the degree of achievements of Inputs, Outputs, and Project Purposes based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM").
- 2) to evaluate the Project in terms of five evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability) and
- 3) to make recommendations regarding the measures to be taken for the improvement of the Project

1.3 Methodology of Evaluation

The Project was evaluated by the Team. For the evaluation, Five Evaluation Criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability) were applied. These Five Evaluation Criteria are related to PDM as shown in the following table.

Relationship between PDM and Five Evaluation Criteria

	Relevance	Effectiveness	Efficiency	Impact	Sustainability
Overall Goal					
Project Purpose					
Outputs					
Inputs					

1.4 Members of the Terminal Evaluation Team

Name	Field	Position
Mr. Konishi Nobuyuki	Team Leader	Team Director, Technical and Higher Education Division, Human Development Department, JICA
Mr. Kiyama Hiroaki	Vocational Training	Section Chief (International Cooperation), Employment and Human Resources Development Organization of Japan
Ms. Ida Izumi	Cooperation Planning	Program Officer, Technical and Higher Education Division, Human Development Department, JICA

Ms. Mitani Kinuko	Evaluation Analysis	Consultant, IC Net Limited
-------------------	---------------------	-------------------------------

2. Project Performances and Implementation Process

The achievement of the Project was measured in terms of inputs, activities, outputs and project purpose, all of which were based on the PDM.

Narrative Summary of PDM agreed in May 2007

Overall Goal	BTVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.
Project Purpose	The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI.
Output 1	Concept of the new qualification for instructors and managers is established.
Output 2	Training cycle for instructors is established.
Output 3	Training cycle for managers is established.

2.1 Inputs

2.1.1 Japanese Contribution

1) Dispatch of Experts

A total of 15 experts totaling approximately 73 MM have been assigned from June 2007 up to now. The areas of expertise include Project Manager/Coordinator, Qualifications for Instructors and Managers, and Training Planning for each targeted trade.

2) Provision of equipment and facilities

The total amount of the equipment provided as of February 2010 is approximately 43,274,000 JPY (676,290,579 Ush).

3) Training for Counterparts

A total of 12 persons participated in the study tour in Japan arranged under the counterpart training scheme of the Project. In addition, 3 persons participated in the group training "Seminar on Human Resource Development Administration" and 2 persons participated in the group training "Seminar on Training Management for Vocational Training Institutions".

As for 12 persons, 8 persons (2 each from automobile, electronics, electricity and metal fabrication) benefited the training "Training for Master Trainers 2", and 4 persons benefited the training "Training for Master Trainers".

4) Operational Cost for the Project

A total of approximately JPY 26,263,000 (US\$ 454,961,651) has been expended for local operational costs by the Project fund from June 2007 to February 2010. The Project bore the cost of the workshop for Occupational Profiles of 4 trades (level-3) of ATP (Assessment Training Package), though it was

initially not included as the project expense.

2.1.2 Ugandan Contribution

1) Appointment of Counterpart Personnel

At the beginning of the Project, counterpart personnel were appointed as planned; however, during the implementation of the Project, the MoES was reorganized and names of concerned departments were changed in comparison with original R/D agreed on May 31, 2007. The present counterpart personnel are shown in ANNEX 2 2-4.

2) Land and Facilities for the Project

Provision of office space, facilities, basic furniture and equipment for the Japanese experts had been provided appropriately.

3) Local Expenses

Administrative and operational costs for electricity, water supply, telephone and furniture are borne by Ugandan side.

2.2 Achievements of the Project

The Project has completed some activities planned in the Project. Other activities are under implementation, and are expected to be completed by the end of the project period according to the revised Plan of Operation (PO). The details of the achievements of the Project are shown in ANNEX 3 3-1.

2.3 Implementation Process of the Project

2.3.1 Implementation of Activities

The Project modified the PDM and the PO at the time of the mid-term review. The Project is under implementation as per the PDM (version 2) and the revised PO. One of the changes made in the Project is the reduction of the numbers of trainings conducted during the project period. This change was caused by the delay in the inputs from the Japanese side.

2.3.2 Project Management

The Ugandan and Japanese sides have been jointly managing the Project. The Ugandan side has appointed appropriate persons to implement the Project. The Japanese side has placed a project manager/coordinator whose responsibility includes facilitation of the project implementation between the Ugandan and Japanese side and coordination of the inputs provided by the Japanese side.

3. Results of the Terminal Evaluation

3.1 Result of Evaluation in terms of five criteria

The results of this terminal evaluation according to the 5 criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability) are as follows (details are reflected in Annex 3 3-2).

3.1.1 Relevance

The relevance of the Project is judged to be high because of the following reasons.

1) Relevance of the strategy

There has been no change in the relevancy of the strategy illustrated in the ex-ante evaluation (2006-2007) and the mid-term review (2009) conducted by JICA. Both the Government of Uganda and the Government of Japan set the BTVET Sector as one of the priority areas of assistance.

2) Relevance of the necessity

There has been no change in the relevancy of the necessity of assistance to the BTVET Sector. The need for instructor and manager trainings continues to be high in Uganda. The labor market of Uganda is rapidly expanding, and is in need of semi-skilled and skilled workers especially. Likewise, the number of students who are completing the primary education is increasing in Uganda due to the implementation of the Universal Primary Education (UPE), which was introduced in 1997.

3) Relevance of the priority

To support the youth who completed the primary education through the UPE, the MoES emphasizes the importance of improving the quality of instructors at post-primary education level. Additionally, the MoES expresses its expectation that the vocational training institutes, technical institutes and colleges in Uganda are able to provide practical skills and knowledge that meet the needs of the labor market of Uganda. To meet such expectations, qualified instructors and managers are required urgently in all institutions which are offering vocational training courses.

3.1.2 Effectiveness

The project effectiveness is assessed as high because of the reasons shown below.

1) Achievement level of the Project

The Project has been implemented as per the PDM (version 2) and the revised PO as mentioned in Section 2.3.1. CVTI, DVTI and DTIM trainings have been planned and conducted under the Project. The planned activities have not been fully completed at this time. However, it is expected that all the activities will be completed by the end of the project period according to the PO. The successful completion of the activities will lead to the outputs of the Project, which will contribute in a higher degree to the achievement of the project purpose.

The proposal submitted by the Project which illustrates the new qualification (excluding CVTI) is under review for approval by Directorate of Industrial Training (DIT) under the MoES. The approval of the new qualification will endorse the achievement of the Output 1.

The CVTI certificate has been issued to 29 trainees by DIT. Another 39 trainees are to be issued the CVTI certificate after obtaining the approval of DIT. Thereafter, 68 trainees shall hold the CVTI certificate by the end of the Project. The CVTI trainees as well as others who are concerned with the CVTI training are more than 80% satisfied with the CVTI training conducted in the Project. The

satisfactory survey conducted by the Project indicates that 100% satisfaction was shown in the West Region and the North Region, 98% in the East Region, and 96% in the Central Region. The average satisfaction rate comes to 98.5% (Output 2).

The DVTI and DTIM training programs are currently being conducted for the first time under the Project. The assessment of these courses cannot be undertaken at this terminal evaluation because these courses are not yet completed. According to the concerned Japanese experts and the counterpart personnel, these training programs are running smoothly so far, and do not expect major problem(s) before completion. At the same time, a concern has been shared by the Project regarding the duration and the training cycle of the DTIM training program (Output 3).

2) Influence of the project external factors

There has been no change which may influence the project external factors. No major change on the national policy regarding the BTVET Act was found, and is expected. While the Project awaits the approval of the new qualification by DIT, it does not expect any negative effect by the UVQF (Uganda Vocational Qualifications Framework).

3.1.3 Efficiency

The project efficiency is judged as high according to the following findings.

1) Inputs from the Ugandan side

The counterpart personnel are demonstrating a high level of commitment and performance in regard to the project implementation. Those who have been trained in Japan have been applying the skills and knowledge further developed during the counterpart training according to the Japanese experts. The Japanese experts have been provided adequate office space and other inputs required in the smooth implementation of the Project.

2) Inputs from the Japanese side

According to the counterpart personnel, subject and level of expertise provided by the Japanese side are found to be appropriate for the Project. The timing of the inputs from the Japanese side was delayed, which resulted in the change in the Project in the course of the implementation. The number of the training programs conducted in the Project had to be reduced due to the delay. To compensate for the delay which was not expected at the beginning of the project implementation, another long-term expert (Technical Advisor) was deployed to the Project in August 2009. The Technical Advisor is stationed at Nakawa VTI until the end of the Project.

The counterpart personnel found the contents of the counterpart training programs very effective and relevant to improve their skills and knowledge. They commented that Japan is an appropriate destination for those instructors and managers who require higher-quality skills and competencies. This means that the counterpart training programs selected in the Project met the needs of those who participated.

3.1.4 Impact

The following impact is expected to be found, which will lead to the achievement of the overall goal in 3 to 5 years after the end of the Project.

1) Achievement of the overall goal

Nakawa VTI has established the foundation of the training system for instructor and manager training programs in Uganda under the Project. Jinja VTI is under rehabilitation and expansion. After the completion of such rehabilitation and expansion, Jinja VTI will also conduct the CVTI training program in collaboration with Nakawa VTI. As for the DVTI and DTIM training programs, Nakawa VTI will remain as the institute in charge. Between these VTIs, the overall goal will most likely be achieved.

The indicator regarding the number of CVTI certificate holders set in the PDM (version 2) should be modified. Jinja VTI will not be ready to conduct the CVTI training program until 2012 according to the result of the terminal evaluation.

2) Positive impact

Other development partners such as African Development Bank (AfDB), World Bank (WB), Belgium Technical Cooperation (BTC), Korean International Cooperation Agency (KOICA), and the Islamic Development Bank have shown interest in supporting the BTVET Sub-sector. Some of them have already begun providing some form of assistance to the Sub-sector. Achievements and lessons learned throughout the long history of JICA assistance in the BTVET Sub-sector will benefit from these development partners. If the donor coordination in the Sub-sector is well led and managed by the MoES, many BTVET institutions in Uganda shall be the direct and indirect beneficiaries of the assistance extended by the donors as well as the MoES. The result of the effective donor coordination shall contribute in the increased number of higher-quality instructors and managers at BTVET institutions.

3) Negative impact

No negative impact of the Project was found according to the interviews conducted with the Ugandan and Japanese persons who are involved in the Project as well as other development partners such as AfDB, BTC, GTZ and the WB.

3.1.5 Sustainability

The project sustainability will be possible if adequate financial and human resources are allocated to Nakawa VTI and other VTIs concerned. Other VTIs will require assistance in procuring and/or upgrading equipment needed to conduct the CVTI training. It is important that other VTIs upgrade their facilities and equipment so that the gap between the Nakawa VTI and others becomes less. Most importantly, the project sustainability will heavily depend on the smooth implementation of the BTVET Act, UVQF, and the new qualification levels.

1) Organizational/policy aspect

Under the leadership of the MoES, the following key players in the BTVET Sub-sector are expected to be fully engaged in improving the quality of instructors of BTVET institutions.

- a) MoES: DIT, TIET and TVET, which are the concerned departments of the Project under the MoES, are developing strategies in regard to the CVTI, DVTI and DTIM training programs. Though such strategies are not yet finalized, the Team was able to see how these departments are working together to set the direction of instructor and manager training programs in the BTVET Sub-sector. One example is that the MoES is currently partnering with the WB in collaboration with BTC in the development of the BTVET Strategic Plan for Uganda. The draft terms of reference for consultancy services for the formulation of the Plan has been shared with BTC, JICA and GTZ for review.
- b) Nakawa VTI: Nakawa VTI has been benefitting from the Project in improving its facility, equipment, and capacity of instructors and managers. It is working extensively towards the achievement of the project purpose. Likewise, they are preparing to be self sustainable by reviewing the current organizational capacity of the institute. By the end of the Project, Nakawa VTI is aiming to (i) establish a new department that will be responsible for the CVTI, DVTI, and DTIM training programs, (ii) recruit more instructors, (iii) institutionalize the CVTI, DVTI, and DTIM training programs introduced by the Project.
- c) Other VTIs: Jinja VTI is one of other VTIs that are considered to implement the CVTI training program. Jinja VTI is under rehabilitation and expansion of its facilities and equipment, which is funded by AfDB (Education III). The rehabilitation and expansion is expected to be completed by December 2010. Jinja VTI has benefited from the Project in terms of its instructors being trained and by participating in the CVTI and DVTI training programs under the Project.

2) Financial aspect

The Ugandan side has been providing financial assistance to the Project. According to Nakawa VTI, the budget required to carry out the CVTI, DVTI, and DTIM training programs has been estimated and requested for approval by the MoES for FY2010/2011. The financial sustainability of Nakawa VTI is assured if the requested budget is approved and disbursed in a timely manner. Same process has been taken by Jinja VTI for FY2010/2011.

TIET and TVET have confirmed to the Team that the proposed budget for FY2010/11 for Nakawa VTI includes additional funds for the CVTI, DVTI and DTIM training programs given the condition that the Project comes to an end in August 2010.

3) Technical aspect

Nakawa VTI is the lead institution in the BTVET Sub-sector, and is expected to impart the skills, knowledge, and techniques acquired throughout the Project to other VTIs. The instructors of Nakawa VTI are highly qualified and capable of continuing the efforts made by the Project after the end of the Project.

- a) Technical transfer: Those who participated in the counterpart training returned to Nakawa VTI with increased confidence, skills and knowledge in their respective areas of expertise. The counterpart personnel have shown capacity improvement as instructors, master trainers, and managers compared to the beginning of the Project according to the Japanese experts. The satisfactory survey targeting the CVTI trainees conducted by the Project shows that more than 80% of the participants and others who are concerned with the training are satisfied with the

training. This can be translated as successful and timely technical transfer of expertise from the Japanese side to the Ugandan side.

- b) Maintenance of equipment: There is a storekeeper who is responsible for the equipment maintenance at Nakawa VIT. In addition to the store keeper, the Heads of Departments at Nakawa VTI are responsible for the maintenance and management of the equipment used by each department. The equipment procured by the Japanese side have been used and maintained well by Nakawa VTI. The quality of the maintenance and management of the equipment is expected to be the same after the end of the Project.

4) Social aspect

The training programs introduced by the Project are offered to the selected instructors and managers at no cost, which provides very economical career development opportunity for them.

From the view point of the indirect beneficiaries of the Project, female trainees at VTIs will be able to receive high quality training and act as role models for others. Today, female trainees are found in courses which were traditionally dominated by male trainees such as mechanics and metal fabrication. Jinja VTI is constructing a new dormitory for female trainees on campus, which is funded by AfDB. By availing a female dormitory, female enrollment at Jinja VTI is expected to increase in 2011 and after.

3.2 Conclusion

Based on the findings and analysis above mentioned, the Team concludes:

- 1) The project activities have been operated smoothly according to the revised PO. Although there were some changes in the planned schedule caused by the delay of Japanese inputs, it was overcome by the effort of both counterparts and Japanese experts. The training system is approved by the MoES. However, the certification process has not been completed. Therefore, the Project purpose will be achieved.
- 2) The sustainability of the project is expected to be high because of the following reasons:
 - a) Nakawa VTI has acquired the capacity to conduct and manage the CVTI, DVTI and DTIM training programs through the technical transfer by the Japanese experts.
 - b) MoES is now making efforts to establish the new qualification system and allocate the budget to sustain these training programs at Nakawa VTI.
- 3) The followings are the remaining challenges:
 - a) Leveling of CVTI, DVTI and DTIM training programs should be accredited by DIT so as to maintain the quality of those training programs and roll out to other institutions.
 - b) The gaps in the instructor capacity and condition of facilities and equipments between Nakawa VTI and other institutions need to be reduced.

4. Recommendations

As a result of the series of discussion, the Team made the following recommendations to the Uganda

side.

1) Quality assurance mechanism of CVTI, DVTI and DTIM training programs

Under the Project, the CVTI training has been conducted twice. The DVTI and DTIM training programs are currently being implemented for the first time. As part of the establishment of the training system of the CVTI, DVTI and DTIM training programs, textbooks and lesson plans have been developed. By conducting regular monitoring and review of these trainings, quality of the textbooks and lessons plans used in these training programs should be improved. Particularly, Nakawa VTI should apply experience and lessons learned through the CVTI training program to the DVTI and DTIM training programs when conducting them for the second time and thereafter.

2) Strengthening of instructor and manager training programs implementation structure

After starting the Project, Nakawa VTI is playing a new role as an institute conducting instructor and manager training programs. However, due to the lack of manpower at Nakawa VTI, the volume of its work is significantly increased. Nakawa VTI is planning to establish a new department for instructor and manager training programs and to recruit additional personnel for the next fiscal year. This plan should be realized. And also this plan proposed by Nakawa VTI should be extended to other institutions.

3) Improvement of the skills of instructor

The inputs from the Japanese side will end after the termination of the Project. Thereafter the trained instructors and managers should be supported to maintain and upgrade their capacity. For instance Master Trainer 2 who are trained as the DVTI training instructors can advance their knowledge and technology through the linkage with the industries.

4) Authorization of CVTI, DVTI and DTIM training programs based on the UVQF

CVTI, DVTI and DTIM training programs should be leveled based on the UVQF. However, not only leveling of these training programs but also development of the ATPs for these training programs have not been completed. Due to the said pending issues, the certificate has not been issued to the participants of the 2nd CVTI training program. These problems need to be solved immediately.

5) Allocation of budget for the CVTI, DVTI and DTIM training programs

The inputs from the Japanese side will no longer be provided after the completion of the Project in August 2010. It is recommended that the Ugandan side manages the sustainability of the CVTI, DVTI, and DTIM training programs by itself. Adequate budget should be allocated to cover upgrading and maintenance of the facilities and equipment of the concerned institutions as well as the training programs.

A. K

J

ANNEXES

1. Project Design Matrix (PDM) Ver.3
2. Inputs to the Project
 - 2-1 List of Japanese Experts
 - 2-2 List of Participants for Counterpart Training
 - 2-3 List of Equipment Provided by JICA
 - 2-4 List of Counterpart Personnel
 - 2-5 Training Expenditure
3. Evaluation Grid
 - 3-1 Achievement of the Project
 - 3-2 Evaluation by Five Criteria

M. K.

J.

Annex 1: Project Design Matrix (PDM) Ver.3

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Ver.3

❖ Project Name: THE PROJECT FOR INSTRUCTORS TRAINING FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING IN UGANDA

❖ Period: 3 years and 3 months

❖ Target Group: (Direct) Instructors training

In-service instructors at Nakawa VTI: prospective Master trainer 2, Master trainer 1 (DVTI* instructors) and CVTI* instructors,

In-service instructors of key BTVET institutions carrying out CVTI program: prospective Master trainer 1(DVTI instructors)

In-service instructors applying for CVTI training courses: prospective CVTI instructors

Managers training

In-service managers at Nakawa VTI: Prospective Master trainer

In-service managers applying for managers training courses

(Indirect) Nationwide BTVET institutions and their students, Private sectors (local industries)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p>(Overall goal) BTVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>	<ul style="list-style-type: none"> The number of DVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for DVTI concept's requirement reaches 58 by 2015. The number of CVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for CVTI concept's requirement reaches 306 by 2015. The number of managers who filled skills and knowledge for DTIM concept's requirement reaches 72 by 2015. 	<ul style="list-style-type: none"> Record of MoES 	<ul style="list-style-type: none"> No immense changes occurs in the national policy on BTVET sector in Uganda
<p>(Project purpose) The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI</p>	<ul style="list-style-type: none"> More than 80 % of persons concerned* in BTVET institutions of Uganda is satisfied with the system to establish. More than 80% of trainees pass the final assessment of training courses. The training system at Nakawa VTI is authorized by MoES 	<ul style="list-style-type: none"> Survey conducted by the Project evaluation team composed of Nakawa, other key BTVET institutions, and other development partners. 	<ul style="list-style-type: none"> The qualification system is approved officially and/or, the concepts are well applied in BTVET institutions of Uganda. Other development partners such as German agencies and AfDB work together with this Project to enhance effectiveness of the outputs realized by the Project.
<p>(Outputs) 1. Concept of the new qualification for instructors and managers is established. 2. Training cycle for instructors is established. 3. Training cycle for managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Proposal for concept of the new qualification is officially appraised. More than 80 % of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for instructors. Sufficient number of Master trainers* is trained for implementation of CVTI training. 58 instructors complete CVTI training. 	<ul style="list-style-type: none"> Project record Record of MoES Survey conducted by the Project (ditto) Module/curricula, training plan Project record 	<ul style="list-style-type: none"> There are no immense changes on national policy regarding national qualification system. Contents of the newly proposed qualification system does not receive negative effects/changes

A. R

f

<p>(Activities)</p> <p>Output 1: Concept of new qualification</p> <p>1-1 To study and determine the required level and criteria for the new qualification</p> <p>1-2 To confirm consistency of the level and criteria to set for the new qualification with UVQF</p> <p>1-3 To formulate the concept of the new qualification.</p> <p>Output 2: Training system for instructors [Preparation for training module and courses]</p> <p>2-1-1 To study skills and knowledge of instructors at present and their needs</p> <p>2-1-2 To develop module, curricula, teaching material, and to prepare necessary equipment for training courses, looking at the consistency with UVQF</p> <p>2-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p>[Training for Master trainers 2*]</p> <p>2-2-1 To select candidates of Master trainers 2</p> <p>2-2-2 To conduct training for Master trainers 2</p> <p>[Training for Master trainers 1*]</p> <p>2-3-1 To conduct "RPL: Recognition of Prior Learning" for participants of training courses on Master trainers 1</p> <p>2-3-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-3-3 To conduct training courses by Master trainers 2</p> <p>[Training for other instructors (prospective* CVTI holders)]</p> <p>2-4-1 To conduct RPL for participants of training courses on prospective CVTI</p> <p>2-4-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-4-3 To conduct training courses by Master trainers 2 and/or 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> • More than 80 % of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for managers. • Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of managers training. • 12 managers complete managers training. <p>(Input)</p> <p>Japanese side:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JICA Long term expert 2. JICA Short term expert(s) as necessary 3. Equipment 4. Counterpart training in Japan or overseas 5. Supplemental expenses <p>Ugandan side:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Counterparts 2. Administrative personnel 3. Necessary infrastructure for the Project including; <ul style="list-style-type: none"> • Office facility equipped with office furniture, electricity supply and direct telephone line, for the Project team 4. Budget for Project such as; <ul style="list-style-type: none"> • Training cost • Salaries and other allowances for Ugandan staff • Costs for electricity, water, gas, fuel and other contingencies • Operational expenses for customs clearance, storage, domestic transportation and installation • Expenses for maintenance of the Project facilities and equipment • Other necessary local expenses of the Project 	<ul style="list-style-type: none"> • Survey conducted by the Project (ditto) • Module/curricula, training plan • Project record 	<p>by UVQF's progress and/or changes.</p> <ul style="list-style-type: none"> • There is no significant delay on UVQF's progress • Necessary facilities, equipment, materials for implementation of training courses have been well maintained. • Sufficient numbers of participants who meet the pre-requirement to participate in training courses are secured. • The Project can obtain support, advice from local industries.
<p>(Precondition)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Counterparts are properly 			

M. R.

2

<p>assigned.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Implementation body of the Project is formed through the process of mutual understandings on each role of related organizations to the Project. • Demarcation and cooperative roles among donors are confirmed. 	<p>【Monitoring and Evaluation】 2-5-1 To monitor and evaluate training courses periodically 2-5-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation courses after the training</p> <p>Output 3: Training system for managers 【Preparation for training module and courses】 3-1-1 To study skills and knowledge of managers at present and their needs. 3-1-2 To develop module, curricula, teaching material for training courses, looking at the consistency with UVQF 3-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p>【Training for Master trainers】 3-2-1 To select candidates of Master trainers 3-2-2 To conduct training courses for Master trainers</p> <p>【Training for other managers】 3-3-1 To conduct RPL for participants of training courses on Managers 3-3-2 To select managers who will participate in the training courses 3-3-3 To conduct training courses by Master trainers</p> <p>【Monitoring and Evaluation】 3-4-1 To monitor and evaluate training courses periodically 3-4-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation 3-4-3 To assess the performance of managers after the training</p>
---	--

Note 1: The Project employs the concept of new qualification for trainers and managers, which are DVTI, Diploma in Vocational Training Instruction, CVTI, Certificate in Vocational Training Instruction, and DTIM, Diploma in Training Institution Management.

Note 2: 'Persons concerned in BTVET institutions of Uganda' in the Objectively Verifiable Indicators means instructors, managers who received training at Nakawa VTI, and their supervisors at their BTVET institutions.

Note 3: Master trainer 2 will conduct training for Master trainer 1 and CVTI. Master trainer 1 will conduct training for CVTI.

Note 4: It is prospected that the provisional qualification will automatically transfer to the status of the official qualification after the qualification system developed by the project is authorized.

Annex 2 2-1: List of Japanese Experts

1. Long-term (39.90M/M)		Name	Position	Period	Month
	Mr. Susumu MAKINO		Project management and coordination	June 7, 2009 – August 31, 2010*	14.87
	Mr. Kiyoshi UMEMOTO		Vocational Training Advisor	June 7, 2007 – June 6, 2009 August 6, 2009 – August 31, 2010*	24.00 13.03
2. Short-term (21.58 M/M)		Name	Title	Period	Month
	Mr. Kiyoshi UMEMOTO		Expert (Counterpart Training Planning – Qualification Framework)	August 24, 2008 – February 23, 2009	6.13
	Mr. Manabu NAKAMURA		Expert (Counterpart Training Planning – Motor Vehicle)	July 22, 2007 – December 1, 2007 June 20, 2009 – July 28, 2009 June 29, 2008 – August 9, 2008 July 28, 2007 – September 1, 2007	4.43 1.17 1.47 1.20
	Mr. Takeshi ITO		Expert (Counterpart Training Planning – Metal Fabrication)	July 28, 2007 – August 26, 2007	1.00
	Mr. Kimitoshi SAITO		Expert (Counterpart Training Planning – Electronics, Electricity)	August 21, 2007 – September 17, 2007	0.93
	Mr. Masaru TOMODA		Expert (Training Planning – Electronics, Electricity)	October 1, 2008 – November 15, 2008	1.53
	Mr. Kozo IDE		Expert (Training Planning – Metal Fabrication)	November 18, 2008 – December 18, 2008	1.03
	Mr. Hayato MATSUMOTO		Expert (Training Monitoring – Motor Vehicle)	November 5, 2008 – November 11, 2008	0.23
	Mr. Masaki HASHIMOTO		Expert (Training Monitoring - Electronics, Electricity)	July 14, 2009 – August 28, 2009	1.40
	Mr. Takuma SAITO		Expert (Training Monitoring - Metal Fabrication)	July 28, 2009 – August 28, 2009	1.06

Note: * The date and year may be subject to change.

M. R.

A

Annex 2 2-2: List of Participants for Counterpart Training

1. Country Focus Training

Name	Field	Period
Giruli M.	Managers (MT)	August 29, 2009 – October 18, 2009
Muwanga E.	Managers (MT)	August 29, 2009 – October 18, 2009
Eliachu D.	Managers (MT)	September 22, 2008 – November 9, 2008
Kyahurwa P.	Managers (MT)	September 22, 2008 – November 9, 2008
Asimwe P.	Motor Vehicle (MT2)	July 12, 2008 – October 5, 2008
Asimuwe L.	Electricity (MT2)	July 12, 2008 – October 5, 2008
Nakakannde H.	Electricity (MT2)	July 12, 2008 – October 5, 2008
Mubiru D.	Motor Vehicle (MT2)	January 7, 2008 – March 27, 2008
Edema P.	Electronics (MT2)	January 7, 2008 – March 27, 2008
Omoo F.	Electronics (MT2)	January 7, 2008 – March 27, 2008
Mafabi P.	Metal Fabrication (MT2)	January 7, 2008 – March 27, 2008
Mayanja F.	Metal Fabrication (MT2)	January 7, 2008 – March 27, 2008

2. Group Training

Name	Title	Period
Robert E.	Seminar on Training Management for Vocational Training Institution	January 17, 2010 – February 19, 2010*
Kagezi H.	Seminar on Training Management for Vocational Training Institution	January 17, 2010 – February 19, 2010*
Egau J.	Seminar on Human Resource Development Administration	January 12, 2010 – February 19, 2010*
Ethel K.	Seminar on Human Resource Development Administration	January 12, 2010 – February 19, 2010*
Matovu M.	Seminar on Human Resource Development Administration	January 18, 2009 – February 7, 2009

Source: JICA Project Team (January 2010)

Note: *The seminars are not yet finished.

J

M. K

Annex 2 2-3 (a): List of Equipment Provided by JICA (cost of below JPN 20,000)

As of January 2010

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
Management							
'08/'09	Batteries (for Sony Video Camera)	2	11,936	23,872	Nakawa VTI Management	B	A
'08/'09	Memory Card (for Sony Video Camera)	2	3,226	6,452	Nakawa VTI Management	A	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Nakawa VTI Management	A	A
Electronics							
'07/'08	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,825	11,825	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	11,487	11,487	Electronics Section Practice Room	B	A
'07/'08	Transformer (output 6V,9V,1A)	20	4,189	83,780	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Transformer (output 12V,24V,1A)	20	4,595	91,900	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Magnifying glass (Illuminated Magnifying glass)	5	1,351	6,755	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Power Supply Unit (ATX PS)	20	1,613	32,260	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Mother Board (INTELL Pentium)	20	5,806	116,120	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Cooling Fan (Pentium 4)	20	1,290	25,800	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	RAM (1GM DDR2)	20	3,871	77,420	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Hard Disk Drive (80GB)	20	4,838	96,760	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Wireless-G Access Point (Lynksys)	5	12,258	61,290	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Wireless LAM Card (PCI)	28	3,871	108,388	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Soldering Iron (Goot KS-308R)	10	1,129	11,290	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Transistors (BD139)	100	129	12,900	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Transistors (BU508A)	100	206	20,600	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Transistors (BU508D)	100	206	20,600	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Power Transistor- low current (C2233, D880)	100	290	29,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Power Transistor- high current (BD140,BUT11A)	100	225	22,500	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Electrolytic Capacitors (1000µF/50V, 10MF/50V, 330MF/400V)	100	290	29,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Ceramic Capacitors (0.1PF, 0.001PF, 0.47PF,	100	52	5,200	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Resistor- low value (2.2Ω, 4.7Ω, 1Ω, 10Ω, 100Ω.)	1,000	26	26,000	Electronics Section Practice Room	B	A

N.K

S

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Resistor-high value (1K Ω , 1.2K Ω , 1.5 Ω , 10K Ω ,)	1,000	52	52,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Preset Resistor- low value (4.7K Ω , 10K Ω , 470K Ω)	200	52	10,400	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Preset Resistor- high value (47K Ω , 100K Ω , 220K Ω ,)	200	52	10,400	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Step-Down Transformer (AC240V-AC100V)	1	7,200	7,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Step-Down Transformer (AC240V-AC100V)	1	8,600	8,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Thermo Heater (Sunhayato: TH-100)	1	6,800	6,800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Step-Down Transformer (AC240V-AC100V)	1	4,700	4,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Photosensitive Printed Circuit Board (Sunhayato: 10K)	50	320	16,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Photosensitive Printed Circuit Board (Sunhayato: 15K)	50	560	28,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Developing Powder (for Photosensitive PCB DP-	100	320	32,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Resist Pen (for Photosensitive Printed RP-1)	30	180	5,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Printed Circuit Board (Sunhayato: ICB-93W)	20	420	8,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Printed Circuit Board (Sunhayato: AT-1S)	100	160	16,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Jump Wire (Sunhayato: SPP-50)	20	320	6,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Jump Wire (Sunhayato: SPP-70)	20	340	6,800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Jump Wire (Sunhayato: SPP-100)	20	410	8,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	LCD Character Module (SD1602HUOB-XA-G-R)	20	1,680	33,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Resonator (CSTLS4M00G53-B0)	50	20	1,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Resonator (CSTLS8M00G53-B0)	50	30	1,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Resonator (CSTLS10M00G53-B0)	50	28	1,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Resonator (CSTLS20M00G51-B0)	50	66	3,300	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Single Digit Display Module (A-551SRD)	50	74	3,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Display Module (C-551SRD)	50	74	3,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Peripheral Interface Controller Chip (PIC16F84A-20/P)	50	542	27,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Three Terminal Regulator (NJM7805FA)	10	210	2,100	Electronics Section Practice Room	A	A

M. K

8

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Three Terminal Regulator (NJM7809FA)	50	48	2,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Three Terminal Regulator (NJM7812FA)	50	42	2,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Cadmium Sulfatell (I-110)	20	30	600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	K-type Thermocouple (621-2158)	2	3,750	7,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Complementaty Metal Oxide Semiconductor Thermo (S8100B)	20	188	3,760	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Infrared Remote Control Receiver Module (PL-IRM0208-A538)	20	186	3,720	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Pyroelectric Infrared Sensor (IRA-E700STI)	20	770	15,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Diffusion Photodiode (BPY62-3/4)	2	1,820	3,640	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ultrasonic Sensor (MA40S4S/MA40S4R)	10	740	7,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Acceleration Sensor Module (KXM52-1050)	10	1,150	11,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Transistor (2SC1815Y)	2	920	1,840	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Transistor (2SC1016Y)	2	920	1,840	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ikkumination Light Emitting Diode (OSUB5161P)	10	460	4,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ikkumination Light Emitting Diode (OSDR5113A)	2	460	920	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ikkumination Light Emitting Diode (OSNG5113A)	2	575	1,150	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ikkumination Light Emitting Diode (OSYL51143A)	2	690	1,380	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3108TRC)	2	1,525	3,050	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3114TRC)	2	1,525	3,050	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3116TRC)	2	1,525	3,050	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3118TRC)	2	1,785	3,570	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3120TRC)	2	1,950	3,900	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	IC Socket (W3124/3TRC)	2	1,950	3,900	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Three Terminal Regulator (LM317BTG)	80	120	9,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Operational Amplifier (LM358P)	50	44	2,200	Electronics Section Practice Room	A	A

N.K

f

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Zener Diode (HZ6A3)	100	10	1,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Zener Diode (HZ7C2)	100	10	1,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Zener Diode (HZ9A3)	100	10	1,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Zener Diode (HZ12A2)	100	10	1,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Zener Diode (RD110FM)	50	143	7,150	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Rectifier Diode Vishay (1N4001)	10	138	1,380	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Rectifier Diode Vishay (1N4007)	10	109	1,090	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Programmable Logic Device (GAL22V10D-151LPN)	25	370	9,250	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Digital Multi Meter (73302)	5	17,800	89,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Tin-Lead Solder (TSURU22-60/0.8)	5	5,100	25,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Lan Cable Tester (LAN-TST3N)	3	2,580	7,740	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Antistatic Wrist Band (TK-SE6)	5	1,140	5,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Registered Jack (ADT-RJ45100L)	5	2,300	11,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Caulking Tool (LAN-TL6)	10	2,180	21,800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Communication Cable (KB-T5-CB200BLK)	2	11,380	22,760	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Voltage Probe (SS-0110)	18	7,820	140,760	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Attenuator Probe (PC-51)	20	8,790	175,800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Tracing Paper (SE-T79)	5	920	4,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Stripper for Optical Fiber (S210)	1	11,700	11,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Protection Sleeve (S924)	2	6,450	12,900	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Optical Fiber Code (SM-1-SC-SC-10)	10	6,200	62,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Soft Carrying Case for Optical Power Meter	2	2,800	5,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Optical Fiber Connector (Q-SC<SM>-09)	20	1,430	28,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC00AP)	100	20	2,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC02AP)	100	20	2,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC04AP)	100	20	2,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC05AP)	25	22	550	Electronics Section Practice Room	A	A

N. K

f

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Logic IC (TC74HC08AP)	100	20	2,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC14AP)	25	22	550	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC20AP)	25	22	550	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC21AP)	25	22	550	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC32AP)	100	22	2,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC42AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC74AP)	100	24	2,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC85AP)	25	54	1,350	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC86AP)	100	28	2,800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC112AP)	25	34	850	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC123AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC125AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC138AP)	25	30	750	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC139AP)	25	32	800	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC151AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC153AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC157AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC161AP)	25	56	1,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC163AP)	25	60	1,500	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC164AP)	25	48	1,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC165AP)	25	66	1,650	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC173AP)	25	68	1,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC174AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC175AP)	25	44	1,100	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC191AP)	25	74	1,850	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC193AP)	25	80	2,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC373AP)	25	74	1,850	Electronics Section Practice Room	A	A

N. K.

J

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Logic IC (TC74HC374AP)	25	70	1,750	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (TC74HC541AP)	25	90	2,250	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Logic IC (SN74LS47N)	100	74	7,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'09/'10	160 GB Hard Disk Drive (IDE Desktop)	15	6,976	104,640	Electronics Section Practice Room	A	A
Electricity							
'07/'08	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,825	11,825	Electricity Section Practice Room	A	A
'07/'08	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	11,487	11,487	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'08	MPI Cable (6ES7901-0BF00-0AA0)	7	5,895	41,265	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'08	Flare/swaging tool set (Standard)	2	18,919	37,838	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'08	Butane blow torch (L.P. Butane)	2	13,514	27,028	Electricity Section Practice Room	B	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Air Cylinder (DA20X100-1-CS3MA2)	5	7,700	38,500	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Solenoid Valve (GI10-4E2-PSL DC24V)	5	8,100	40,500	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Fitting (TL6-01)	1	1,950	1,950	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Fitting (TL6-M5)	1	1,610	1,610	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Polyurethane Tube (TP-6 BK)	1	1,610	1,610	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Polyurethane Tube (TP-4 W)	1	1,150	1,150	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Fitting (UJDST4-W)	3	580	1,740	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Fitting (UJTEL4-W)	5	370	1,850	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Fitting (UJTEL6-B)	5	370	1,850	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Cable (for Sequential Control Training Board)	7	7,800	54,600	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Digital Multi Meter (73201)	20	10,000	200,000	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Pilot Lamp (APN126R)	10	970	9,700	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Pilot Lamp (APN126G)	10	970	9,700	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Push Switch (ABS111N)	20	940	18,800	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Wire Stripper (3000C)	20	2,000	40,000	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Step-Down Transformer (AC240V-AC100V)	1	6,900	6,900	Electricity Section Practice Room	A	A

Handwritten initials: N. N.

Handwritten mark: A

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Ink Ribbon Cassette Black (for Tube Label Printer)	5	1,030	5,150	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Round Tube (LM-TU436L)	2	2,400	4,800	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Optoelectronic Switch (E3Z-D61-SOSHW-P2)	7	6,760	47,320	Electricity Section Practice Room	A	A
'08/'09	Proximity Switch (E2E-X3D1-U 2M)	7	5,310	37,170	Electricity Section Practice Room	A	A
Motor-Vehicle							
'07/'08	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,825	11,825	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/'08	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	11,487	11,487	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Thread Master (Banzai USF-8)	3	8,649	25,947	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Torque wrench Set (TORX L Wrench Set)	1	9,460	9,460	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Ratcheting Axle Stand (KEN503-5530K 3ton)	8	6,058	48,464	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Magnetic Parts Trays PB-3	10	8,291	82,910	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Fender Cover (FC-YMF)	5	2,450	12,250	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Seat Cover (SC-2)	5	2,980	14,900	Motorvehicle Section Practice	A	A
Sheet-Metal							
'07/'08	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,825	11,825	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'07/'08	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	11,487	11,487	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Pipe wrench (12 inch)	15	2,027	30,405	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Pipe wrench (18 inch)	15	3,040	45,600	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Ball pein hammers (450 g)	14	1,013	14,182	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'07/'08	Rubber mallets (240z)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'07/'08	Rough flat files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'07/'08	Smooth flat files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Round rough files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Round smooth files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Half round rough files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Half round smooth files (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Divider (300 mm)	15	1,689	25,335	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Vernier calipers (150 mm)	10	2,027	20,270	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Cold chisels (150 mm)	15	676	10,140	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Pliers with side cutter (150 mm)	15	540	8,100	Sheetmetal Section Practice Room	B	A

N. R.

f

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'07/'08	Steel Rules (300m)	15	338	5,070	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Steel Rules (1000m)	10	1,689	16,890	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Engineering square (250 mm)	15	811	12,165	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Hack saw frames (300mm long, 100mm)	15	1,013	15,195	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Dice stock set (1/2 inch, 1/4 inch, 3/4inch, 2 inch)	10	15,675	156,750	Sheetmetal Section Practice Room	B	A
'07/'08	Power cable (240V, more than 20 meter)	3	8,445	25,335	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Brass-Made Bending Die (for Pipe Bending Machine Φ 3)	1	14,800	14,800	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'09/'10	Book (Plumbing Curriculum Support)	1	14,530	14,530	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'09/'10	Book (Plumbing NVQ Level 3)	1	4,269	4,269	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
Welding							
'07/'08	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,825	11,825	Welding Section Practice Room	A	A
'07/'08	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	11,487	11,487	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,871	3,871	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Record G-clamp (150M)	5	4,838	24,190	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Record G-clamp (250M)	5	6,774	33,870	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Hand tap set (3mm-12mm combined taps and dies)	3	5,484	16,452	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Acetylene Regulator (for cylinder, share low, middle pressure)	2	11,291	22,582	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Oxygen Regulator (for cylinder, share low, middle pressure)	2	11,291	22,582	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Argon Regulator (for cylinder, with float meter 1piece)	2	13,226	26,452	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Gas Welding torch (German type)	20	14,194	283,880	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Stainless steel wire brush (Standard)	5	2,452	12,260	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Gas tip cleaners (Standard)	2	645	1,290	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Spark Lighter (Standard)	5	968	4,840	Welding Section Practice Room	B	A

M. K

(Handwritten mark)

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Arc welding torches (for 300A)	24	1,613	38,712	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Wire for MAG welding (Æ1.2JIS YGW12 15Kg-roll)	5	16,129	80,645	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	TIG filler rods (Stainless steel Jis Y308 Æ1.6 2Kg pack)	7	12,903	90,321	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	TIG filler rods (Stainless steel JisY308 Æ2.4 2Kgpack)	7	18,064	126,448	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	TIG electrodes (Tungsten within cerium Æ)	20	3,355	67,100	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	TIG electrodes (Tungsten within cerium Æ)	20	4,065	81,300	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Light Ball (for Black Light)	2	16,000	32,000	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Filter (for Black Light)	2	19,000	38,000	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Protection Glass (for Black Light)	2	5,150	10,300	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Light Shielding Sheet (B-7 GN)	10	13,700	137,000	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Colette Ø1.6 (for AW-17)	15	650	9,750	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Colette Ø2.4 (for AW-17)	15	650	9,750	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Colette Body Ø1.6 (for AW-17)	15	1,000	15,000	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Colette Body Ø2.4 (for AW-17)	15	1,000	15,000	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Nozzle (No.5 for AW-17)	15	650	9,750	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Nozzle (No.6 for AW-17)	15	650	9,750	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Ceramic Nozzle (No.7 for AW-17)	15	770	11,550	Welding Section Practice Room	A	A

Source: JICA Project Team (January 2010)

Note: Condition of use/management is graded as below.

Condition of use

- A : Being used very frequently
- B : Being used often (from one to three times a week).
- C : It has been used consecutively at certain times.
- D : It has not been used often so far (from three to 11 times annually).
- E : It has not been in use due to particular reasons.

Condition of management

- A : It has been serviced well with regular check-ups, and can be used any time necessary.
- B : Management is done on the whole, and has no problem in usage.
- C : If serviced, it can be used.
- D : It can hardly be used.

M. K

J

Annex 2 2-3 (b): List of Equipment Provided by JICA (cost of more than JPN 20,000)
As of January 2010

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
Management							
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	1	141,892	141,892	Nakawa VTI Management	A	A
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	1	141,892	141,892	Nakawa VTI Management	A	A
'07/'08	Copy Machine with Cabinet (Cannon IR 1022A)	1	229,730	229,730	Nakawa VTI Management	A	A
'07/'08	Projector (Sony VPL-ES4)	1	118,243	118,243	Nakawa VTI Management	B	A
'07/'08	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	50,676	50,676	Nakawa VTI Management	B	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,968	30,968	Nakawa VTI Management	B	A
'08/'09	Digital Video Camera (Sony Handycam DCR-SR85)	2	93,548	187,096	Nakawa VTI Management	B	A
Electronics							
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	141,892	283,784	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Projector (Sony VPL-ES4)	1	118,243	118,243	Electronics Section Practice Room	B	A
'07/'08	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	50,676	50,676	Electronics Section Practice Room	B	A
'07/'08	Server Computer (ProLiant ML350)	1	370,730	370,730	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	White Board (3ft X 5ft)	1	20,270	20,270	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Desktop Computer (Dell Optiplex 755)	24	99,597	2,390,328	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	Monitor (for Desktop Computers) (17"inch)	24	28,379	681,096	Electronics Section Practice Room	A	A
'07/'08	D-Link Unit (Fiber optic converter)	9	26,351	237,159	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	2	30,968	61,936	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Mobile phone training kit Nokia Type(UFS-3)	5	41,935	209,675	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Mobile phone training kit Universal Type(UB)	2	54,839	109,678	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Digital Kight Box (Sunhayato Box-W100)	1	154,000	154,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Tabletop Etching Equipment (Sunhayato: ES-30)	1	36,000	36,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	USB Programmer (Akihabara Inc : VP-80)	5	30,800	154,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Ethernet Switch (Centrecom FS716TL)	2	23,000	46,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Access Router (AR550SCentrecom)	2	80,200	160,400	Electronics Section Practice Room	B	A

M. K.

[Signature]

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Splicer for Optical Fiber (Furukawa Electric co.Ltd. S122A)	1	584,500	584,500	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	0.9mm Fiber Holder (S709S-900)	1	57,900	57,900	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Cutter for Optical Fiber (Furukawa Electric co.Ltd. S315)	1	31,000	31,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Optical Power Meter (AQ2160-01)	1	55,900	55,900	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	LD Light Source (AQ4270-01)	1	125,000	125,000	Electronics Section Practice Room	B	A
'08/'09	Optical Patch Cable SM-1-sc(spc)-sc(spc)- 2M(T6H-14292)	1	23,600	23,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Quick SC assembling Tool (QST-02)	1	42,500	42,500	Electronics Section Practice Room	B	A
'09/'10	Air Conditioner (18000 BTUS)	1	106,976	106,976	Electronics Section Practice Room	A	A
Electricity							
'07/'08	White Board (3ft X 5ft)	1	20,270	20,270	Electricity Section Practice Room	A	A
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	15	160,959	2,414,385	Electricity Section Practice Room	A	A
'07/'08	Programmable Logic (6ES7314-6BG03-0AB0)	7	123,278	862,946	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'09	Touch Display (6AV7843-0AF10-0CB0)	2	331,238	662,476	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'08	Solar Panel (Monocrystalline Solar World)	3	161,487	484,461	Electricity Section Practice Room	B	A
'07/'08	Fire alarm training kit (Fire alarm system 2 zones)	1	132,432	132,432	Electricity Section Practice Room	B	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC- 730)	1	30,968	30,968	Electricity Section Practice Room	B	A
'08/'09	Air Conditioner (Daikin 9000BTU)	2	96,775	193,550	Electricity Section Practice Room	B	A
'08/'09	Sequential Control Training (Omron: KENTEI-PLC)	7	101,200	708,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Three-Phase Motor (MLH8085M-44A0A)	2	26,200	52,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Single-Phase Motor (SKD-4P-0.4kw-FBKA3)	2	36,100	72,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Voltage Regulator (Yamabishi: SS3P-440-10-S)	2	149,500	299,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Differential Pressure (EJA110-DHS0A-30DC)	1	308,600	308,600	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Distributor (VJA1-016-A6N0)	1	53,700	53,700	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Digital Control Terminal (BT200-N00 Brain Terminal)	1	192,200	192,200	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Automatic Temperature (Adwin: TAC-100TV)	2	119,000	238,000	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Step-Down Transformer (240V-100V)	2	22,200	44,400	Electronics Section Practice Room	A	A
'08/'09	Tube Label Printer (MAX: LM-330T)	1	54,700	54,700	Electronics Section Practice Room	A	A

n. k

f

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'09/'10	TCP/IP Connector (CP 343-1)	2	236,290	472,580	Electronics Section Practice Room	B	A
Motor-Vehicle							
'07/'08	Desktop Computer (Dell Optiplex 755)	1	121,622	121,622	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	141,892	283,784	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/'08	Projector (Sony VPL-ES4)	1	118,243	118,243	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	50,676	50,676	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Tool Set	10	74,260	742,600	Motorvehicle	A	A
'07/'08	Running Caddy	10	134,631	1,346,310	Section Practice	A	A
'07/'08	White Board (3ft X 5ft)	1	20,270	20,270	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/'08	Nissan RD28 Turbo charger	1	256,640	256,640	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Diesel pump tester (PICK UP PROBE 2492300)	1	31,649	31,649	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Toyota diesel engine (Yr.1994)	1	29,730	29,730	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Toyota 1KZ-TE Control Unit (Used)	1	54,054	54,054	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Toyota Corona Premio (AT211-0013241)	1	506,757	506,757	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Radiator Cap Tester (BanzaiRCT-2A-22)	2	134,797	269,594	Motorvehicle Section Practice	B	A
'07/'08	Torque Socket Set (TORX Box Driver Set)	1	25,811	25,811	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/'08	Service Creeper (Banzai SC-12)	4	22,061	88,244	Motorvehicle Section Practice	B	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,968	30,968	Motorvehicle Section Practice Room	B	A
'08/'09	Lift Jack (KEN503-7100K 3TON)	2	30,070	60,140	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Battery Charger (SIP494-3300E)	1	130,561	130,561	Motorvehicle Section Practice	B	A
'08/'09	Engine Stand ES550	1	64,710	64,710	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/'09	Training Board for Lighting System (ASTECH:LS/AT211 Circuit Training)	2	534,000	1,068,000	Motorvehicle Section Practice Room	B	A
'08/'09	Vacuum Pump (CS-7020W·F)	1	98,200	98,200	Motorvehicle Section Practice	B	A
'09/'10	Plate Lift (FOX 40)	1	3,694,881	3,694,881	Motorvehicle Section Practice	B	A
Sheet-Metal							
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	141,892	283,784	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'07/'08	White Board (3ft X 5ft)	1	20,270	20,270	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,968	30,968	Sheetmetal Section Practice Room	B	A

M. K

L

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Spare Edge (for Noguchi Skearing Machine)	1	976,500	976,500	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Pipe Bending Machine (VS-76 030-IT)	1	2,458,000	2,458,000	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Iron-Mada Former (for Pipe Bending Machine Φ34 R112)	1	77,500	77,500	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Iron-Mada Former (Φ 42.7 R130)	1	98,300	98,300	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Iron-Mada Former (Φ 48.6 R150)	1	109,500	109,500	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Iron-Mada Former (Φ 60.5 R190)	1	142,800	142,800	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Iron-Mada Former (Φ 76.3 R260)	1	394,000	394,000	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Brass-Made Bending Die (for Pipe Bending Machine Φ 42.7)	1	24,900	24,900	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Brass-Made Bending Die (for Pipe Bending Machine Φ 48.6)	1	24,900	24,900	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Brass-Made Bending Die (for Pipe Bending Machine Φ 60.5)	1	91,000	91,000	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'08/'09	Brass-Made Bending Die (for Pipe Bending Machine Φ 76.3)	1	35,800	35,800	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'09/'10	Book (Plumbing NVQ Level 2)	1	27,051	27,051	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
'09/'10	Book (Plumbing NVQ Level 3)	1	27,051	27,051	Sheetmetal Section Practice Room	A	A
Welding							
'07/'08	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	141,892	283,784	Welding Section Practice Room	A	A
'07/'08	Projector (Sony VPL-ES4)	1	118,243	118,243	Welding Section Practice Room	B	A
'07/'08	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	50,676	50,676	Welding Section Practice Room	B	A
'07/'08	White Board (3ft X 5ft)	1	20,270	20,270	Welding Section Practice Room	A	A
'08/'09	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,968	30,968	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Hand grinder (Stayer SAB-22-125)	2	25,161	50,322	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Hand grinder (Stayer SAB-22-180)	2	31,936	63,872	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Stayer light duty hand drill (Stayer TH550)	2	26,452	52,904	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Aluminum wire for MIG welding (Æ1.2 A5183 6.5Kg)	2	64,516	129,032	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Gas Cutting torch (Koike sanso)	3	20,000	60,000	Welding Section Practice Room	B	A
'08/'09	Black Light (Eishin Kagaku Co.,Ltd.: SC-125)	1	217,000	217,000	Welding Section Practice Room	A	A

h h

7

Year	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management
			Unit (JPN)	Total (JPN)			
'08/'09	Fluorescent Magnetic Powder (SY-7000 Magnatron)	1	25,000	25,000	Welding Section Practice Room	A	A

Source: JICA Project Team (January 2010)

Note: Condition of use/management is graded as below.

Condition of use

- A : Being used very frequently
- B : Being used often (from one to three times a week).
- C : It has been used consecutively at certain times.
- D : It has not been used often so far (from three to 11 times annually).
- E : It has not been in use due to particular reasons.

Condition of management

- A : It has been serviced well with regular check-ups, and can be used any time necessary.
- B : Management is done on the whole, and has no problem in usage.
- C : If serviced, it can be used.
- D : It can hardly be used.

M. K

J

Annex 2 2-4: List of Counterpart Personnel

No.	Name	Title	Post in the Project
1	Mrs. Maegaret N. Nsereko	Commissioner, TIET	
2	Dr. Jane Egau Okou	Assistant Commissioner, TIET	
3	Mr. Musoke Matovu	Principal, Nakawa VTI	
4	Mr. Kiwanuka Mukumbi C.	Deputy Principal (Administration), Nakawa VTI	
5	Mr. Muwanga Fred	Deputy Principal (Training), Nakawa VTI	Master Trainer, DTIM Training
6	Mr. Oteka Albino	Training Manager, Nakawa VTI	
7	Mr. Giruli Michael	Head of Department (Pedagogy), Nakawa VTI	Master Trainer, DTIM Training
8	Mr. Kyahurwa Patric	Senior Instructor (Pedagogy), Nakawa VTI	Master Trainer, DTIM Training
9	Mr. Eliachu David	Senior Instructor (Pedagogy), Nakawa VTI	Master Trainer, DTIM Training
10	Mr. Muhangi G.	Senior Instructor (Pedagogy), Nakawa VTI	
11	Ms. Achemusto B.	Instructor (Pedagogy), Nakawa VTI	
12	Mr. Omoo Francis	Head of Department (Electricity), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
13	Mr. Peter Edema	Instructor (Electricity), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
14	Mr. Rujumba M.	Instructor (Electricity), Nakawa VTI	
15	Ms. Kegezi H.	Instructor (Electricity), Nakawa VTI	Training Coordinator
16	Mr. Tumushabe S.	Instructor (Electricity), Nakawa VTI	
17	Mr. Apiire W.	Instructor (Electricity), Nakawa VTI	
18	Ms. Nakakande H.	Head of Department (Electricity), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
19	Ms. Asimwe L.	Senior Instructor (Electricity), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
20	Mr. Okumu S.	Senior Instructor (Electricity), Nakawa VTI	
21	Ms. Janet Were	Instructor (Electricity)	
22	Mr. Okello H. Phillip	Instructor (Electricity)	
23	Mr. Matsiko Kenneth	Instructor (Electricity)	
24	Mr. Ssemakula A.	Assistant Instructor (Electricity), Nakawa VTI	
25	Mr. Mubiru David	Head of Department (Motor Vehicle), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
26	Mr. Asimwe Patric	Senior Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
27	Mr. Madila Alex	Senior Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
28	Mr. Musanje J.	Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
29	Mr. Sseguya J.	Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
30	Mr. Kibirige Njoki J.	Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
31	Mr. Lule D.	Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
32	Mr. Kiyimba M.	Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
33	Mr. Sebanakitta Wilson	Assistant Instructor (Motor Vehicle), Nakawa VTI	
34	Mr. Mafabi Peter	Head of Department (Sheet Metal), Nakawa VTI	
35	Mr. Kazibwe R.	Instructor (Sheet Metal), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
36	Mr. Keeya Francis	Instructor (Sheet Metal), Nakawa VTI	
37	Mr. Kaweesa R.	Assistant Instructor (Sheet Metal), Nakawa VTI	
38	Mr. Mayanja Fred	Head of Department (Welding), Nakawa VTI	Master Trainer 2, Instructors Training
39	Mr. Wanyama I.	Instructor (Welding), Nakawa VTI	
40	Mr. Janja	Instructor (Welding), Nakawa VTI	
41	Ms. Nassaza J.	Instructor (Welding), Nakawa VTI	

M. R.

S

Annex 2.2-5: Training Costs (CVTI, DVTI, DTIM)
As of January 2010

Expenditure Item	1st CVTI		2nd CVTI		3rd CVTI		1st DVTI		1st DTIM		(Ush)
	JICA	Uganda	JICA	Uganda	JICA	Uganda	JICA	Uganda	JICA	Uganda	
	Feeding	0	33,417,580	0	54,122,692	0	0	0	32,613,450	0	
Maintenance of vehicle (including petrol)	0	1,819,000	0	1,580,500	0	0	0	0	0	0	0
Maintenance of buildings and ground	16,415,900	37,050,083	27,781,700	53,013,977	0	0	0	0	271,000	0	0
Transport	0	5,182,500	0	4,294,000	0	0	0	0	3,481,000	0	1,150,000
Facilitator's Allowance	0	9,084,020	0	37,030,688	0	0	0	0	12,400,490	0	8,299,060
Meeting Expenses	0	3,028,000	0	1,360,000	0	0	0	0	0	0	0
Study Tour	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Training materials and other	43,827,566	23,470,061	65,226,415	18,095,520	11,526,000	0	69,687,775	2,696,000	8,413,000	0	0
Administratin Expenses	0	28,521,640	0	9,530,180	0	0	0	5,372,040	0	0	534,960
Utilities (i.e., electricity, Recreation, Welfare and Entertainment (including Advertisement and Public Relations	0	9,674,681	0	10,901,890	0	0	0	0	0	0	0
	0	5,510,180	0	1,964,400	0	0	0	2,100,000	0	0	764,000
Furniture and other manufactured supplies	4,891,500	344,200	9,719,800	0	0	0	421,000	0	0	0	0
Development of Occupational Profile	0	0	0	14,345,390	0	0	0	0	0	0	0
Sub-Total	79,134,966	203,762,765	102,727,915	206,239,237	11,526,000	0	70,108,775	58,933,980	8,413,000	0	16,068,020
Grand-Total	282,897,731	308,967,152	11,526,000	129,042,755	0	0	0	0	0	0	24,481,020

Source: JICA Project Team (January 2010)

M. R

J

Annex 3 3-1: Achievement of the Project (As of February 11, 2010)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Results
<p><Overall Goal > BTVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • The number of DVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for DVTI concept's requirement reaches 58 by 2015. • The number of CVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for CVTI concept's requirement reaches to 306 by 2015. • The number of managers who filled skills and knowledge for DTIM concept's requirement reaches 72 by 2015 	<p>During the terminal evaluation, the Ugandan and Japanese sides discussed and agreed to modify the number of the certificate holders. The numbers will be the estimated certificate holders from 2012 to 2015, compared to 2011 to 2015. The reason for the modification is the current conditions/status of the project implementation as well as the rehabilitation and expansion of Jinja VTI.</p>
<p><Project Purpose> The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • More than 80% of persons concerned in BTVET institutions of Uganda is satisfied with the system to establish • More than 80% of trainees pass the final assessment of training courses • The training system at Nakawa VTI is authorized by MoES 	<ul style="list-style-type: none"> • The CVTI training program has been conducted twice. The participants and others concerned* who responded to the satisfactory survey conducted by the Project are more than 80% satisfied with the training program (100% in the West and North Regions, 98% in the East Region, 96% in the Central Region, and 98.5% as the average rate). Satisfactory assessment for the DVTI and DTIM training programs cannot be made at the terminal evaluation. These Trainings are not yet completed. • 83% of the 1st CVTI training program passed the final assessment (29 trainees out of 35). 39 trainees completed the 2nd CVTI training program, and are waiting for the certificate. At the 2nd training program, all trainees passed the final assessment. No final assessment can be made at the terminal evaluation. The DVTI and DTIM training programs are not yet completed. • The training system developed by the Project is accepted by the MoES, and is currently under implementation.
<p><Output 1> Concept of the new qualification for instructors and managers is established.</p>	<p>Proposal for concept of the new qualification is officially appraised.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • The proposal illustrating the new qualification (CVTI, DVTI, and DTIM training programs) developed by the Project has been submitted to MoES. • The proposal has been referred in the senior management meeting participated by the MoES PS, Directors and others in relation to the CVTI training program. • DIT is currently reviewing the equivalency of CVTI, DVTI and DTIM training

M. R

<p><Output 2> Training cycle for instructors is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • More than 80% of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for instructors • Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of CVTI training • 58 instructors complete CVTI training 	<p>programs against the existing UVQF.</p> <ul style="list-style-type: none"> • The CVTI training program has been conducted twice. The participants and others concerned* who responded to the satisfactory survey conducted by the Project are more than 80% satisfied with the training program (100% in the West and North Regions, 98% in the East Region, 96% in the Central Region, and 98.5% as the average rate). • 8 instructors have been trained as MT2. 29 trainees are currently enrolled in the 1st DVTI training program. • 29 participants have received the CVTI certificate from the 1st CVTI training program in the Project. 39 participants have completed the 2nd CVTI training program. They are waiting to receive their certificates from DIT.
<p><Output 3> Training cycle for managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • More than 80% of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for managers • Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of managers training • 12 managers complete managers training 	<ul style="list-style-type: none"> • The 1st DTIM training program is under implementation. Thus, the assessment of the training program cannot be conducted at this time.. • 4 senior instructors of Nakawa VTI have participated and completed in the counterpart training for "Master Trainers". • 24 managers are participating in the DTIM training program at the moment.

Source: JICA Project Team (February 2010), JICA Project Ugandan Counterpart Personnel (February 2010)

Note: *Others concerned indicates supervisors of the CVTI participants at respective BTVET institutions.

M. K.

J

Annex 3 3-2: Five Evaluation Criteria (As of February 10, 2010)

Criteria	Checkpoint	Required Data	Source of Information	Data Collection	Results
Relevance	Consistency with the needs of the Ugandan society	Consistency with the National Development Plan	ESSP 2004-2015	Questionnaire, Interview	No change found since the ex-ante evaluation and the mid-term evaluation of the Project.
	Consistency with the needs of the target group	Priority level of VTI trainers training	MoES, Nakawa VTI	Questionnaire, Interview	No change found since the ex-ante evaluation and the mid-term evaluation of the Project.
	Consistency with the Ugandan development policy	National Development Plan, Status of the BTVET policy implementation	MoES, JICA Uganda Office	Questionnaire, Interview	<ul style="list-style-type: none"> No change found since the ex-ante evaluation and the mid-term evaluation of the Project. It is said in the Education Sector Strategic Plan 205-2015 that the BTVET Sub-sector is an important area to develop capacity of those who can contribute in the economic growth of Uganda
	Consistency with the Japanese development policy for Uganda	Japan's ODA Policy for Uganda, JICA's country assistance strategy for Uganda	JICA Country Assistance Plan for Uganda	Document review	<ul style="list-style-type: none"> No change found since the ex-ante evaluation and the mid-term evaluation of the Project. According to the needs assessment conducted by the Government of Japan in 2008, human resources develop was identified as one of the priority areas of assistance. It was stated that the support for the TVET Sector be continued in developing practical and employable skills which meet the labour market demand. JICA's country assistance strategy for Uganda (1996) said that the income gaps created due to occupational factors is a problem. As part of the assistance extend to human security achievement, JICA believes that assistance to the TVET Sector will contribute to poverty reduction.
	Relevancy of strategy/approach applied in the Project	Appropriateness of instructor capacity development approach (Counterpart training)	Counterpart, Other relevant persons, Japanese experts	Questionnaire, Interview	<ul style="list-style-type: none"> Manager training program (DTIM) is a new concept in Uganda. Thus, no such training was found in Uganda. Throughout the assistance extended to the BTVET Sub-sector in Uganda by JICA, Nakawa VTI is very familiar with the Japanese qualification system. It was logical to train the Master Trainer 2 in Japan.
Relevancy of the target group selection	Appropriateness of selection of Nakawa VTI, appropriateness of trainees' selection	MoES, Counterpart	Document review, Questionnaire	<ul style="list-style-type: none"> JICA has been supporting Nakawa VTI for a long time, and the capacity of concerned personnel at Nakawa VTI has been improved through the JICA Projects. Nakawa VTI has the most suitable capacity and facilities to implement the 	

M. K

Q

					<p>Project.</p> <ul style="list-style-type: none"> With the discussion with the MoES and others concerned, selections of trainees were conducted. The selection criteria included balance in geographic representation, qualification of individuals, recommendation from concerned VTIs and technical institutes.
	Relevancy of the training occupation selection	Selection process of the target training courses	Counterpart, Other relevant persons, Japanese experts	Questionnaire, Interview	The selection was done based on the results of the survey conducted by both Nakawa VTI and the Project.
	Suitability of Japan's technology and/or experience	Application of Japanese TOT system	Japanese expert	Interview	<ul style="list-style-type: none"> Skills/experience/knowledge especially in regard to CVTI and DVTI training programs are effectively applied by the deployed Japanese experts. Relevancy of the Japanese experience in DTIM training program may be less compared to CVTI and DVTI training programs. However, a long-term expert (technical advisor) has been an effective asset to catch up with the delay in achieving the output 3.
Effectiveness	Achievement level of the project purpose	Achievement level of the project purpose	Counterpart, Japanese experts	Document review Interview	Despite some delay caused by the Japanese side in regard to procurement and deployment of Japanese experts, the project has made a significant improvement in the project implementation. The Project has been implementing as per the revised the PO.
	Inhabiting factors in regard to effectiveness of the Project	Satisfactory level of the trainees and counterpart	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	Instructors and managers at Nakawa VTI are given dual responsibilities under the Project. One is to continue with the basic course which has been the mandate of Nakawa VTI, and the other is to plan and conduct the CVTI, DVTI and DTIM training programs. The workload of the instructors at Nakawa VTI has been increased since very little additional instructors have been placed after the Project began. Additionally some personnel at Nakawa VTI hold responsibilities as manager and instructor. Thus, the technical transfer through the Project has been availed by same personnel in a few cases.
	Effectiveness of outputs in achieving the project purpose		Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	The achievement of the 3 outputs will lead to the achievement of the project purpose since the relationship of cause and effect is found.
	Status of important assumptions in achieving the project purpose through the outputs	Verification of the important assumptions stated in the PDM	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	There has been no change made to the important assumptions.

M. R

J

Efficiency	Achievement level of the expected outputs		Counterpart, Japanese experts	Document review Questionnaire Interview	The achievement level of the expected outputs is high. The details of the progress of the outputs are shown in Annex 3 3-2.
	Inhabiting factors in achieving the expected outputs	Participation status of the 3 trainings, Progress of the activities	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> The 3 training programs introduced by the Project are not yet give classification according to the UVQF. ATP for the 4 occupations selected under the Project is not yet completed. The 3 training programs have been implemented. The concerned instructors in conducting the trainings are developing the required skills/knowledge/experience through the Project.
	Efficiency of the inputs in achieving the expected outputs	Status of the inputs	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> The Japanese side has deployed 2 long-term experts to strengthen the implementation process of the Project. The Ugandan side has been putting longer hours to carry out the activities so that the outputs are achieved in a timely manner.
	Efficiency of the activities in achieving the expected outputs	Status of training participation	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> The completion of the activities is leading towards the achievement of the outputs. The numbers of the trainings conducted in the Project have been reduced. Thus, the counterparts may be faced with the very limited experience given in conducting the DVTI and DTIM training programs in particular.
	Status of the important assumptions in achieving the expected outputs through the activities	Status of the BTVET Act, Training participation, Industries involvement	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> After the reorganization of the MoES, DIT has become responsible in ATP development. DIT is under staffed. With the change in the mandate of DIT, approval process of the new qualification introduced by the Project is not yet institutionalized.
	Relevancy of quantity, timing of the inputs	Progress of the project implementation against the PO	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> The Ugandan side finds the quantity of the inputs made by the Japanese side efficient. A deployment of a long-term expert (technical advisor) has helped the Project in the smoother implementation of the Project especially for the DTIM training program. Delay in the equipment procurement and Japanese experts deployment was a problem initially, was solved in due course.

NR

9

	Relevancy of the counterpart training(s)	Satisfactory rate of the participants	Counterpart, Japanese experts	Interview	Those who have participated in the counterpart trainings expressed that the information/skills/knowledge they acquired through the training are very practical and useful. They are applying the lessons learned and new skills/knowledge to their activities upon returning.
Impact	Probability of the achievement of the overall goal	Progress of the achievement of the overall goal	Counterpart, Japanese experts	Document review Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> Modification in the numbers of certificate holders to be changed. The numbers estimated for 2011 to be deducted from the agreed numbers. Nakawa VTI as well as Jinja VTI are giving high importance from the MoES as the critical implementators in achieving the overall goal. The MoES assured to allocate adequate human and financial resources to these VTIs.
	Inhabiting factors for the achievement of the overall goal	Level of commitment and priority given to the instructors and managers trainings by the MoES	MoES	Interview	<ul style="list-style-type: none"> Timely completion of Jinja VTI rehabilitation and expansion is expected by the end of 2010. Timely issuance of CVTI, DVTI and DTIM certificates by DIT/TIET is required. DIT and TIET expressed their commitment in doing so. Adequate allocation and disbursement of budget to all concerned departments and VTIs by the MoES is assured by the MoES.
	Cause-effect relation between the overall goal and the project purpose		Counterpart, Japanese experts	Interview	Establishment of the training system at Nakawa VTI sets the model in Uganda in developing capacity of instructors and managers in the BTVET Sub-sector in Uganda.
	Status of important assumption for the achievement of the project purpose	Status of the BTVET Act	Counterpart, Japanese experts	Interview	The future direction in regard to operationalizing the BTVET ACT will be illustrated in the BTVET Strategic Plan, which will be developed by the end of 2010 with the assistance of the WB.
	Other impact other than the overall goal	Impact of other project/programme by JICA and/or other donor(s)	MoES, Counterpart, Japanese experts	Interview	No special other impact is forecasted.
	Other negative impact	Negative impact to those who are not benefitted directly by the Project	MoES, Japanese experts	Interview	Negative impact is not found.
	Sustainability	Organizational aspect	Organizational set-up and management capacity of the MoES, TIET, and DIT (i.e., human resources management and development, reorganization of the MoES)	MoES	Interview

M. K.

f

					approved posts are filled. The conditions of human and financial resources availability are as limited as DIT.
		Future direction in regard to the BTVET Act	MoES	Interview	Implementation method of the BTVET Act is under development by the concerned departments in the MoES. With the assistance of the WB and BTC, the MoES is preparing the BTVET Strategic Plan.
		Status of the training system introduced by the Project under the MoES	MoES	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> DIT is comfortable with the current level setting of 1 to 3 in the UVQF. As for Level 4 and above, including the CVTI, DVTI and DTIM training programs, further internal discussion is seem to be required. Nakawa VTI will remain as the leading institute in such trainings in the future.
		Accordance of the training system introduced by the Project at NVTI	MoES, Counterpart, Japanese experts	Interview	The instructors at NVTI are highly qualified and trained through the Project. They have demonstrated the high level of commitment and capacity
		Possibility of involvement of other VTIs and technical colleges	MoES, Counterpart, Japanese experts	Interview	Jinja VTI may be considered to conduct the CVTI training program in the future. But it will not happen before the end of the Project since the rehabilitation and expansion of Jinja VTI will not complete until December 2010 at earliest. The assistance to Jinja VTI is provided by AfDB.
		Organizational capacity of the MoES	MoES, Counterpart, Japanese experts	Interview	<ul style="list-style-type: none"> DIT, TIET, and TVET are the key players in institutionalizing the efforts made by the Project. DIT and TIET are under staffed, and shall require immediate intervention so that they can fasten their service delivery to the pending development, review and/or approval which relate to the implementation of the Project especially before the end of the Project. Despite the said physical conditions, the personnel at both departments are very willing and committed to achieve their goals, which include the efforts made by the Project.
		Current status of NVTI organizational capacity	MoES, Counterpart, Japanese experts	Interview	<ul style="list-style-type: none"> The approved budget from the MoES has not been disbursed to Nakawa VTI in a timely manner. After the reorganization of the MoES, it is expected that such disbursement as well as planning and approval procedure of annual budget for BTVET VTIs be smoother. The work load of senior instructors who are also the master trainers in the Project has been increasing, which is a

M. K

2

					problem. Despite the heavy work load of these master trainers, the CVTI training is expected to be continued.
	Ownership of MoES towards the Project	MoES, Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview		The BTVET Sub-sector is considered as one of the priority area which requires immediate attention and improvement according to the current president.
Financial aspect	Prospect of budget allocation for training of trainers	MoES, Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview		<ul style="list-style-type: none"> Unit cost per training program by the Project has been prepared and submitted to the MoES for their consideration when planning FY2010/2011 budget for Nakawa VTI. The MoES allocates approximately 4% of its annual budget for the BTVET Sub-sector.
Technical aspect	Capacity of modification of the training(s), as/when needed	MoES, Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview		<ul style="list-style-type: none"> The Counterpart personnel are applying the RPL when conducting the training(s). Master trainers are expected to lead the modification of the training(s), as/when needed.
	Management structure of the training equipment	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview		<ul style="list-style-type: none"> A storekeeper is placed at Nakawa VTI for overall management of the equipment. Heads of Departments are held responsible in management and maintenance of the equipment used by each Department, which includes the ones procured by the Japanese side in the Project. Nakawa VTI allocates funds for equipment maintenance each year. The Team found the equipment is kept clean and safe in a store room stationed at each department.
Other	Possibility of the master trainers leaving their posts	Counterpart, Japanese experts	Interview		<ul style="list-style-type: none"> Despite the amount of salary the master trainers receive, they are highly committed to carry on with the CVTI, DVTI, and DTIM training programs. There is a possibility that the master trainers be recruited for other project(s) funded by other development partner(s) (there was such case in the past).
	Other activities in the BTVET Sector	MoES, Other donors' activities	Interview		<ul style="list-style-type: none"> The WB and BTC (Euro. 500,000) are conducting studies in relation to the development of BTVET Strategic Plan in 2010. BTC is extending its assistance to BTVET sector budget support and project-based support. Euro. 16 million has been allocated for the project-based support. It is not yet determined what projects are funded. It is agreed that the fund will not be used for infrastructure development of BTVET institutions, and will be utilized to secure quality and

M. R

R

					<p>efficiency. The fund may be utilized to procure equipment. Before the end of 2010, BTC is planning to place an international technical advisor, BTVET Sub-sector. S/he will be stationed at BTC Uganda office.</p> <ul style="list-style-type: none"> • AfDB is implementing a project (Education III) (USD 29.98 M), and is supporting the rehabilitation and expansion of Jinja VTI. The Project ends on December 1, 2010. AfDB is also implementing a loan project (Project IV) (UA57.78 M) for the rehabilitation and expansion of 2 BTVET institutions in Uganda. KOICA is to collaborate with AfDB under this project. • GTZ will end its assistance in the BTVET Sub-sector in 2011 as scheduled. There is no plan to change the decision so far.
		Consideration towards gender, poverty and socially disadvantaged group(s)	Counterpart, Japanese experts	Questionnaire Interview	<ul style="list-style-type: none"> • “Female participants are highly encouraged” is stated in the general information of Nakawa VTI. • CVTI, DVTI, DTIM training programs are offered at free of charge to relevant instructors, which include female instructors. • Jinja VTI is constructing a new dormitory for female trainees, which shall be available in 2011.

M K

J

4. 評価グリッド（ドラフト1）

(1) プロジェクトの達成度（2010年2月10日現在）

プロジェクトの要約	指標	情報源	達成状況
<p><上位目標> ウガンダ国内の職業訓練校が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員、管理者を擁する。</p>	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 2015年までに DVTI 保有者もしくは DVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 58 人に達する。 2015年までに DTIM 保有者もしくは DTIM の構想に基づく知識・技術レベルを満たす管理者が 72 人に達する。 2015年までに CVTI 保有者もしくは CVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 346 人に達する。 	<p>情報源</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問票 関係者への聞き取り 	<p>達成状況</p> <p>終了時評価時に、「2015年までに CVTI 保有者もしくは CVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 346 人に達する」の目標人数が 306 人に下方変更されることウガンダ側と日本側で協議・同意された。変更の理由は、計画していたジンジャ職業訓練校での CVTI 訓練の実施が 2011 年に開始されないと判断したからである。</p>
<p><プロジェクト目標> ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練校関係者の 80% 以上が構築された指導員・管理者訓練システムに満足する。 訓練受講者の 80% 以上が各コースにおける最終試験に合格する。 ナカワ職業訓練校における訓練システムが教育省に承認される。 	<p>各種報告書</p> <p>質問票</p> <p>関係者への聞き取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> CVTI 訓練はすでに 2 回実施されている（電気科は 1 回のみ）。CVTI 訓練修了生と関係者*を対象に満足度調査が実施された。調査の結果は、80% 以上が指導員訓練に満足している。DVTI 訓練と DTIM 訓練はまだ終了していないため、指標の「80% 以上の満足度」について検証できない。 すでに 2 回実施されている CVTI 訓練の受講生の 80% 以上が最終試験に合格している。 プロジェクトが提案した訓練システムは教育省に承認されている。
<p><成果 1> 指導員・管理者の資格コンセンプトが設定される。</p>	<p>提案された資格制度が政府内部で公式に審査される。</p>	<p>各種報告書</p> <p>質問票</p> <p>関係者への聞き取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> CVTI、DVTI、DTIM 訓練の資格に関するコンセンプトーパーは作成され、教育省に提出されている。 教育省内幹部管理者会議（大臣、PS、ダイレクター、局長レベルが参加）で CVTI に関する認定について協議された際、このペーパーが公の資料として取り扱われている。 現在、DIT 局が新資格の UVQF での位置付け（レベル）を協議中である。
<p><成果 2> 指導員訓練サイクルが確立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練校関係者の 80% 以上が実施された指導員訓練に満足する。 CVTI 訓練実施に十分な数のマスタートレーナーが養成される。 	<p>各種報告書</p> <p>質問票</p> <p>関係者への聞き取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> CVTI 訓練は 2 回実施されている。2009 年 10 月から 11 月にかけて、CVTI 訓練についての満足度調査が受講生と関係者を対象に行われた。調査結果は、平均で 98.5% の満足度（西部と北部は 100%、東部は 98%、中央部は 96% の満足度が確認された）が得られた。 本邦研修を通じて 8 人が MT2 の養成を受けた。現在

<p><成果3> 管理者訓練サイクルが確立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 58人のCVTI保有者が養成される。 		<p>実施中の第1回DVTI訓練には、29名が参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回CVTI訓練修了生29人がCVTI資格の認定を受けた。第2回CVTI訓練修了生39人が現在DITJの認定書の発行を待っている。
	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練校関係者の80%以上が実施された管理者訓練に満足する。十分な数のマスタートレーナーが養成される。 12人が管理者訓練を修了する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種報告書 質問票 関係者への聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で第1回目のDTIM訓練が終了していないため、参加者の満足度が検証できない。 本邦研修を通じて4人が「マスタートレーナー養成」に参加した。 現在実施中のDTIM訓練に24人が参加しているため、指標の12名を達成している。

出典：CVTI訓練の満足度調査報告書（2010年2月）、JICAプロジェクトチーム（2010年2月）、JICAプロジェクト・ウガンダ側カウンタート（2010年2月）

*関係者とは、CVTI訓練に参加した指導員の上司を意味する。

(2) 実施プロセスの状況 (2010年2月10日現在)

評価項目	確認事項	情報源	結果
活動の進捗	計画と実績の比較	各種報告書 関係者への聞き取り	CVTI 訓練は第3回目を現在実施中である。第2回目の CVTI 訓練修了生への Certificate はまだ発行されていない。DIT の承認待ちである。 DVTI と DTIM 訓練は第1回目を現在実施中である。よって、現時点で、訓練参加者の満足度を査定できない。
技術移転の方法	プロジェクト実施体制 (カスケード方式と日本人専門家の投入の妥当性等) 本邦研修の整合性	関係者への聞き取り 関係者への聞き取り	日本人専門家の専門性は適切であった (電気・電子、自動車、金属加工等)。 日本側の供与機材の投入案は、時期に関しあまり適切でなかった。2007年度供与機材の納品が2009年2月となり、MTI 訓練の実施が遅れてしまった。 日本側で供与した機材は全て活用されている。 本邦研修は非常に効果的である。帰国後に参加した研修員は習得した知見や技術を業務に活用している (例: CVTI, MTI 訓練のカリキュラム・教材開発、管理者訓練のカリキュラム・教材開発、運営指導、モニタリング・評価等)。 とても良好である。
コミュニケーション	日本人専門家と C/P のコミュニケーション	各種報告書 関係者への聞き取り	
ナカワ職業訓練校職員の理解度の向上	オーナーシップおよびコミットメント	質問票 関係者への聞き取り	ウガンダ側のプロジェクトに対する認識は非常に高い。 ウガンダ側のプロジェクトに対する主体性はほぼ十分であるが、課題は残る。主な課題は、①ATP 整備と②新資格制度の UVQF 内の位置付け (レベル) の確立である。
C/P の配置	組織改編の影響	関係者への聞き取り	適切な C/P (41人) が配置されている。 シニア指導員への負担が増している。
プロジェクト実施過程で発生している課題・問題		各種報告書 質問票 関係者への聞き取り	ウガンダ側の職業訓練分野における新資格がいまだ整備 (レベル) されていないため、現時点で成果1の自立発展性を的確に検証できない。 プロジェクト関係機関の TIET や DIT は特に人材・予算不足であり、プロジェクト目標を達成するために必要な ATP の開発と新資格の整備等が滞ってしまっている。
マネジメント体制	ウガンダ側のプロジェクト実施体制	各種報告書 関係者への聞き取り	教育省の組織改編がプロジェクト開始後に実施された。この組織改編によって、新しい部署 (TIET) が設立されている。指導員・管理者訓練に関しては、この新部署 (TIET) が担当となっている。 管理職やマスタータレーナーを含むシニア指導員は優秀である。一方で、新規採用指導員の能力は早急に向上させることが期待される。よって、シニア指導員への負担が大きくなっている。 ナカワ職業訓練校は、指導員・管理者訓練の担当部署を新たに設立する計画がある。FY2010/2011 の予算申請に、この新部署の設立にかかる金額が含まれている。
	日本側のプロジェクト実施体制	各種報告書 関係者への聞き取り	短期専門家派遣の時期が遅れた。 当初の計画では長期専門家の派遣は1人であったが、プロジェクト目標の達成を確実に担保するために、2009年8月から「職業訓練アドバイザー長期専門家」1人が追加投入されている。

出典: プロジェクト事業進捗報告書 (2009年11月)、JICA プロジェクトチーム (2010年2月)、JICA プロジェクト・ウガンダ側カウンスラー・パートナー (2010年2月)

(3) 活動項目リスト (2010年2月10日現在)

計画された活動		結果
1-1	新資格制度における資格要件、知識・技能レベルについて調査を行い、決定する。	1-1 CVTI 訓練、DTIM 訓練、DVTI 訓練の Occupational Profile (OP) は作成済みである。それぞれの訓練カリキュラムガイドは未開発であるが、プロジェクトで実施する訓練のカリキュラムは DIT の承認済みである。
1-2	設定した資格要件、レベルと UVQF の整合性を確認する。	1-2 ウガンダ側と日本側で協議を行い、新資格のレベルと UVQF の統合性を調整中である。
1-3	新資格にかかる構想をまとめる。	1-3 新資格にかかるコンセンサスペーパーを作成し、教育省に提出している。教育省は、この新資格にかかる構想を承認している。
2-1-1	現状の指導員の知識・技能および訓練ニーズについて調査を行う。	2-1-1 ナカワ職業訓練校 (2007年1月) とプロジェクト (2007年8月) が調査を実施済みである。
2-1-2	UVQF の進捗に留意しながら、訓練モジュール、カリキュラム、教材の作成および訓練に必要な資機材を調査する。	2-1-2 OP に基づきプロジェクトの訓練用のカリキュラムを作成している。訓練カリキュラムガイドは未開発であるが、プロジェクトの訓練用のカリキュラムと評価システムは開発している。教材も作成済みである (4点セット: 指導案、座学用テキスト、実習用テキスト、課題)。
2-1-3	2-1-1 で調査内容を反映しながら、参加者、タイムスケジュール等までを含めた訓練計画を策定する。	2-1-3 訓練計画を策定している。
2-2-1	マスタートレーナー2の候補者を選定する。	2-2-1 2008年の本邦研修 (自動車、電子、電気、金属加工 (科目)) にそれぞれ2名ずつ参加している。
2-2-2	マスタートレーナー2に対する訓練を実施する。	2-2-2 MT2 に対する訓練を2回実施済みである。第1回目では29名、第2回目では39名が訓練を修了している。
2-3-1	マスタートレーナー1 訓練参加者の知識・技能を知る為に、訓練開始前のレベルチェック (RPL) を行う。	2-3-1 第1回目 CVTI 訓練でのレベルチェック (RPL) は実施している。
2-3-2	マスタートレーナー1 訓練参加者を決定する。	2-3-2 第1回目的の MT1 訓練は2009年7月にスタートしている。電子6名、電気6名、自動車9名、金属加工8名の合計29名が参加をしている。
2-3-3	2-1-2 で作成された教材および 2-1-3 で設定された訓練計画に基づき、マスタートレーナー2を教官とする訓練を実施する。	2-3-3 第1回目的の DVTI 研修は、2009年7月からナカワ職業訓練校で実施されている。この訓練は、2010年3月に修了予定である。
2-4-1	CVTI 訓練参加者の知識・技能を知る為に、訓練開始前のレベルチェック (RPL) を行う。	2-4-1 第1回 CVTI 訓練と第2回 CVTI 訓練の RPL は実施済みである。第3回目的の CVTI 訓練においては、第1モジュールに対する RPL を実施済みである。
2-4-2	CVTI 訓練参加者を決定する。	2-4-2 第1回 CVTI 訓練から第3回 CVTI 訓練までの CVTI 訓練参加者は決定済みである。
2-4-3	2-1-2 で作成された教材および 2-1-3 で設定された訓練計画に基づき、マスタートレーナー1 もしくは 2 を教官とする訓練を実施する。	2-4-3 第1回 CVTI 訓練では35名が参加、うち33名が修了しているが、認定されたのは29名である。第2回 CVTI 訓練では39名が参加、全員修了している。第3回 CVTI 訓練には、36名が参加している。
2-5-1	訓練コースについて定期的なモニタリング、評価を実施する。	2-5-1 第1回 CVTI 訓練と第2回 CVTI 訓練については定期的なモニタリングと評価を実施している。
2-5-2	モニタリング、評価の結果を反映して、適宜訓練モジュール、カリキュラム、教材を改訂する。	2-5-2 第3回 CVTI 訓練を計画・実施するにあたり、すでに2回実施した CVTI 訓練の教訓を反映させている。心理学と哲学のモジュールを追加している。カリキュラムの改訂はなしで、教材については随時見直しを行っている。
2-5-3	マスタートレーナー1、および一般指導員の訓練終了後	2-5-3 すでに2回実施している CVTI 訓練のパフォーマンスは査定している。DVTI は第1回目を現在実施中のため、査定はできていない。

3-1-1	のパフォーマンスを査定する。 現状の管理者の知識・技能および訓練ニーズについて調査を行う。	3-1-1	ナカワ職業訓練校（2007年1月）とプロジェクト（2007年8月）が調査を実施済みである。 職業プロフィールに基づきプロジェクトの訓練用のカリキュラムと教材も作成済みである。
3-1-2	UVQFの進捗に留意しながら、訓練モジュール、カリキュラム、教材の作成および訓練に必要な資機材を調査する。	3-1-2	
3-1-3	3-1-1での調査内容を反映しながら、参加者、タイムスケジュール等までを含めた訓練計画を策定する。	3-1-3	訓練計画を策定済みであるが、終了時評価の時点でプロジェクトからJCCにDTIM訓練期間を9カ月から12ヶ月に延長することが提案された。延長の理由は訓練サイクルの最終モニタリングの時間をとるためであると述べられた。現在の訓練サイクルは最後に講義になっている。
3-2-1	マスタートレーナーの候補者を選定する。	3-2-1	管理者訓練のMTとして、4名が選定されている。
3-2-2	マスタートレーナーに対する訓練を実施する。	3-2-2	2008年9月に1名が本邦研修「職業能力開発行政セミナー」に参加している。同時期に本邦研修「管理者（科目）」に別の2名、2009年8月に別の2名が「管理者」研修に参加している。その他、2010年1月12日スタートの本邦研修「職業訓練運営管理セミナー」に別の2名と2010年1月17日スタートの「職業能力開発行政セミナー」に別の2名が参加している。
3-3-1	DTIM 訓練参加者の知識・技能を知る為に、訓練開始前のレベルチェック（RPL）を行う。	3-3-1	RPLの方針・方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、各モジュールに対してRPLを実施している。
3-3-2	DTIM 訓練参加者を決定する。	3-3-2	2009年4月にDTIM 訓練の受講候補者が24名選定されている。
3-3-3	3-1-2で作成された教材および3-1-3で設定された訓練計画に基づき、マスタートレーナーを教官とする訓練を実施する。	3-3-3	第1回DTIM 訓練は現在実施中である。
3-4-1	訓練コースについて定期的なモニタリング、評価を実施する。	3-4-1	第1回目DTIM 訓練は現在実施中であり、モニタリングは定期的に実施されている。評価は現時点で実施できないが、現時点で参加者が訓練内容に満足していることが確認された。
3-4-2	モニタリング、評価の結果を反映して、適宜訓練モジュール、カリキュラム、教材を改訂する。	3-4-2	第1回目DTIM 訓練が修了していないため、必要な改訂は実施されていない。計画されている必要な改訂は、2010年4月以降に実施される予定である。
3-4-3	一般管理者の訓練終了後のパフォーマンスを査定する。	3-4-3	第1回目DTIM 訓練が修了していないため、計画されている査定は実施されていない。パフォーマンス評価は、2010年6～7月に実施予定である。

出典：JICA プロジェクトチーム（2010年2月）、JICA プロジェクト・ウガンダ側カウンターパート（2010年2月）

(4) 5 項目評価 (2010年2月10日現在)

評価項目	評価の細目	必要な情報・データ	情報源	データ収集方法	結果
評価項目	ウガンダ国社会のニーズとの整合性	国家開発計画との整合性	教育セクター戦略計画	質問票、インタビュー	事前・中間評価調査時から変更はない。
	裨益者グループのニーズとの整合性	VTI 指導員訓練の優先度	教育省、ナカワ職業訓練校	質問票、インタビュー	事前・中間評価調査時から変更はない。
	ウガンダ国の開発戦略政策との整合性	国家開発計画、BTIVET 法の施行状況	教育省、JICA ウガンダ事務所	質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 事前・中間評価調査時から変更はない。 ウガンダ国「教育セクター戦略計画 (ESSP 2005-2015)」では、経済成長を担う人材を育成するための職業訓練の重要性が示されている。
	日本の援助政策との整合性	対ウガンダ国別援助方針	JICA 国別援助方針	資料レビュー	<ul style="list-style-type: none"> 事前・中間評価調査時から変更はない。 平成 21 年度要望調査に向けた基本方針で「人的資源開発」援助重要分野と位置付け、産業界が必要とする実践的な職業技能の習得にかかる支援 (職業訓練教育強化) を継続すると記載。 対ウガンダ国 JICA 国別事業実施計画 (平成 18 年改定) では、「職業による収入格差」を問題視している。「人間の安全保障」への取り組みとして、職業訓練分野への支援を通じて貧困削減への貢献を期待。
	プロジェクトの戦略・アプローチの妥当性	指導員・管理者養成アプローチ (本邦研修) の適切性	カウンタパーパート、日本人専門家	質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 指導員研修 (本邦研修) の実施時期は、プロジェクトの活動を実施する上で適切であった (プロジェクト開始後の派遣)。 日本のこれまでの支援実績を考慮した上で、ウガンダ側が「指導員養成」は日本に要請した (GTZ ではなく)。これまでの日本の支援の成果に基づいて本プロジェクトは計画された。よって、日本での研修の優位性は高い。
	選定した裨益者の妥当性	施設整備、訓練機材等の保有・活用状況、GI 送付先の適切性	教育省、カウンタパーパート	質問票、資料レビュー	<ul style="list-style-type: none"> ナカワ職業訓練校と他訓練校と比較してナカワ職業訓練校の指導員のレベルは高い。指導員の質の高さと設備・資機材の充実度を考慮すると、ナカワ職業訓練校への支援が妥当であると判断された。 教育省主管で JICA と GTZ と協議の上、General Information (GI) の送付先を決定した。地理的なバランスや訓練校の施設の整備状態等を考慮している。今後は地域格差を回避するため、District ベースで CVTI 訓練を実施していく予定である。DVTI 訓練は公立校のみを対象に GI を送付している。第 3 回 DVTI 訓練からは私立校も対象にする方向で調整している。
	選定した訓練コースの妥当性	対象訓練コース選定のプロセス	カウンタパーパート、日本人専門家	質問票、インタビュー	ニース調査に基づいた 4 科目での訓練コースを選定している (電気、電子、金属加工、自動車)。
	支援にかかる日本の技術と経験の優位性	日本の指導員養成訓練研修の経験	日本人専門家	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 指導員訓練にかかる日本人専門家の知見や経験は非常に有効である。 日本側の管理者訓練にかかる知見や経験は指導員訓練と比較して低い。活動の進捗も当初の計画で管理者訓練は 2 回の実施が計画されていたが 1 回だけの実施に変更している。

封和 陸

	上位目標の達成度	上位目標の指標の達成状況	カウンタパーパー、日本人専門家	資料レビュー、質問票、インタビュー	指標を変更することで達成度は高くなる見込みである。
トク	上位目標の達成に対する阻害要因	教育省における指導員養成の優先度	教育省	インタビュー	他訓練校での訓練実施体制がまだ確立されていない。
	上位目標とプロジェクト目標との因果関係		カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	訓練システムの基盤が構築されることで、より質の高い指導員・管理者が養成されることが見込まれるので、因果関係は成立する。
	上位目標達成に対する外部条件の影響	BTIVET法の施行状況	カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	ウガンダ側の法整備が順調に進んでいないのが現状であり、今後円滑に法整備と執行がおこなわれることが重要である。
	上位目標以外のインパクトへの対策	JICAおよび他ドナーによる他のプロジェクト/プログラムへのインパクトの有無	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では特に見込まれていない。 GTZはマスタートレーナーの養成を実施してきているが、私立の訓練校を対象としている。よって、日本の支援との直接的な裨益者が異なっている。
トク	他の負のインパクト	裨益者以外への負の影響	教育省、日本人専門家	インタビュー	特になし。
	組織的自立発展性	MoESおよびNVTIの組織制度と運営状況(組織、人的資源管理、予算監視)	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	現時点でDITやTIETは人材と財務面で改善が望まれる。来年度予算の申請において増員と予算増額を要請している。ナカワ職業訓練校も同上。
		BTIVET法の将来的展望	教育省	インタビュー	教育省内で具体的にどのようなようにしてBTIVET法を実施していくかを検討中。
		プロジェクトが導入した訓練のMoESによる制度化の現状	教育省	質問票、インタビュー	DITによって調整中。
		プロジェクトが導入した訓練のNVTIでの運営実施可能性	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	運営実施の可能性は非常に高い。独自で訓練を継続していくことが見込まれる。
		他のVTI・技術短大の活用可能性	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ジンジャ VTI はアフリカ開発銀行の支援によって施設の建設が行われている。 技術短大での活用の非常に可能性は低い。
		MoESの組織能力の現状	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 教育省内の関係部署はそれぞれプロジェクトに対してやる気を見せている。プロジェクト終了後も成果が継続されることを約束すると述べた。 本取研修を通じて組織能力は強化されてきている。
		NVTIの組織能力の現状	教育省、カウンタパーパー、日本人専門家	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> これまでは予算が速やかに執行されなかったが、来年度からは教育省内での予算立案・承認・執行のプロセスが円滑になることが見込まれる。 ナカワ職業訓練校のシニア指導員の業務負担は増加しているが、指導員訓練は継続されている。 指導員の人数・配置はほぼ十分であるが、ナカワ職業訓練校内で業務の分担・量等の再検討を必要とする必要がある(例：一部

						の職員への負担が大きいが、指導員訓練・基礎訓練を同じ指導員が実施している等が現状) 教育省のプロジェクトに対するオーナーシップは高い。
財政的自立発展性	教育省のプロジェクトに対するオーナーシップ	教育省、カウンターパート、日本人専門家	質問票、インタビュー	質問票、インタビュー	質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 各訓練のコミュニティコストは教育省に提出してある。 教育省のBTJET分野への予算配分は約4%を維持している。今後は増加が期待される。 カウンターパートは、RPLを活用できるようにってきている。 DITが維持管理を担うべきであるが、現状ではその管理ができていない。 プロジェクトで養成されたマスタートレーナーが主幹となって維持管理を行うことが見込まれる。 日本側が供与した資機材はナカワ職業訓練校で管理されている。 ナカワ職業訓練校は全体の資機材管理を担うストアキーパーを1人雇用している。各科長も機材管理の責任を持っている。 ナカワ職業訓練校や他訓練の指導員の給与は低めであるが、指導員としての役割を果たすことに関する責任感是非常に高い。 今後、他ドナーが支援するプロジェクトに引き抜かれる可能性はゼロではない(過去に実例がある)。 世界銀行、AfDB、BTC等がTVET分野への支援を行っている。 今後は、サウジアラビアや韓国などもこの分野への支援を行っていく。 “Female participants are highly encouraged”と記載されている(general informationに記載)。 CVTI訓練、DVTI訓練、DTIM訓練は該当指導員・管理者に無料で実施されている。
技術的自立発展性	導入された訓練の改定維持管理能力の現状	教育省、カウンターパート、日本人専門家	質問票、インタビュー	質問票、インタビュー	質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> マスタートレーナーの離職等の可能性 BTJET分野の他の活動 女性・貧困層、社会的弱者への配慮
その他		カウンターパート、日本人専門家	インタビュー	インタビュー	インタビュー	

出典：プロジェクト事業進捗報告書(2009年11月)、JICAプロジェクトチーム(2010年2月)、JICAプロジェクト・ウガンダ側カウンターパート(2010年2月)

QUESTIONNAIRE
for
the Project for Instructors Training for
Vocational Education and Training in Uganda

Terminal Evaluation

For Counterpart

Please kindly review the information and respond to the questionnaire below.
 If you have any inquiry regarding the questionnaire, please contact Ms. Kinuko Mitani, JICA
 Terminal Review Mission Member, at kmitani@icnet.co.jp (e-mail address).

I. Objective of Terminal Evaluation

Every JICA project is evaluated at different stages during the project cycle as shown in Figure 1 below. Evaluation is a tool for judging as objectively as possible the relevance and effectiveness of JICA project activities at four stages, namely ex-ante, mid-term, terminal and ex-post.

In general, 6 months before the end of the project period, terminal evaluation is conducted to evaluate efficiency, effectiveness and sustainability of the concerned project. The results of the evaluation are shared between the JICA Terminal Evaluation Team and the Ugandan side as well as the JICA Project Team before the evaluation ends. Based on the results and the discussion between the Ugandan side and the JICA Terminal Evaluation Team, JICA Terminal Evaluation Team assesses whether it is:

- appropriate to complete the project as per the planned schedule; or
- necessary to extend its project and/or follow-up cooperation.

In addition, JICA utilizes the results of the evaluation to:

- give recommendations to the Ugandan side in continuing the efforts made by the evaluated project: and
- apply lesson learned from the evaluated project to other JICA Project(s) of similar project purpose, activities, and conditions.

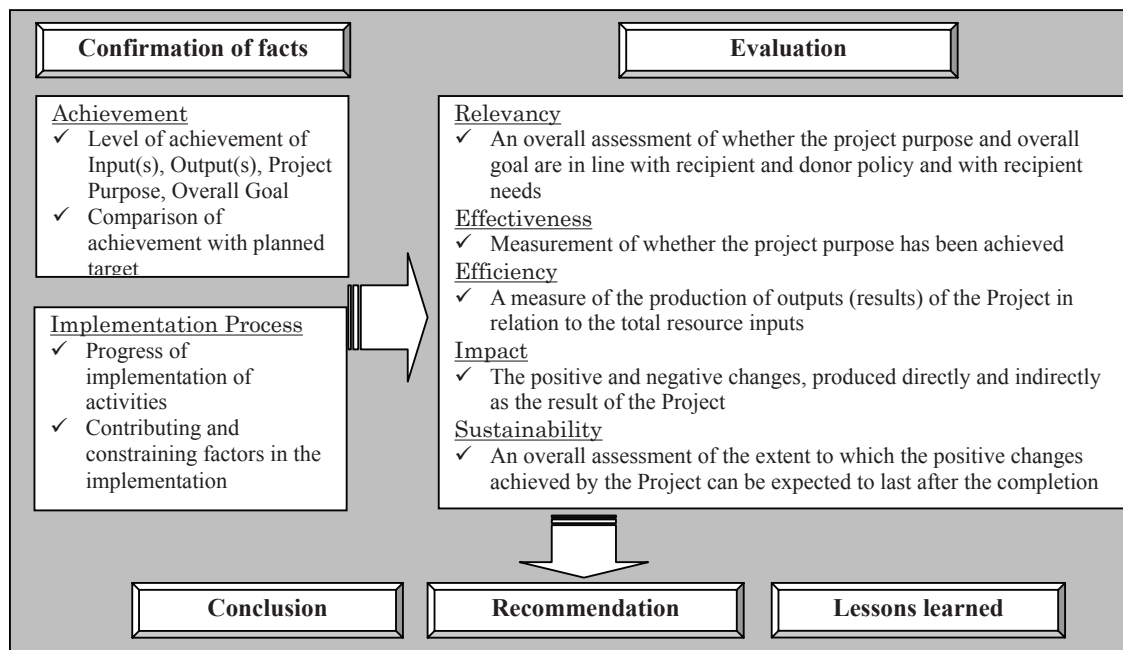


Figure 1: Structure of Terminal Evaluation

II. Survey Method for Terminal Evaluation

A series of questionnaires and interviews are prepared for different groups of stakeholders. These are not only intended to evaluate the achievement of the Project but also to identify contributing and hampering factors of such situations. The report will be attached to the Meeting of Minutes, which will be signed by both Ugandan and Japanese sides.

III. Questionnaire

Could you kindly review the questionnaire below? Please send the typed response to the questionnaire to Ms. Kinuko Mitani, JICA Terminal Review Mission Member by January 26, 2010.

Name:

Position under the Project:

1. About the project's achievement

1-1 Achievement of the Overall Goal

Do you think the overall goal of the Project will be achieved after 3 to 5 years after the end of the project period? If not, please explain why it will not be achieved.

- Yes
- No

< Reason >

1-2 Achievement of the Project Purpose

(1) Do you think the project purpose will be achieved by the end of the project period? If not, please explain why it will not be achieved.

- Yes
- No

< Reason >

(2) Do you think the inputs provided by the Ugandan side are appropriate in achieving the project purpose? If no, please briefly explain why they are not appropriate.

- Yes
- No

< Reason >

(3) Do you think the inputs provided by the Japanese side are appropriate in achieving the project purpose? If not, please briefly explain why they are not appropriate.

- Yes
- No

< Reason >

1-3 Achievement of the Project Outputs

1-3-1 Output 1 “Concept of the new qualification for instructors and managers is established.”

Has the proposal which illustrates the concept of the new qualification developed under the Project been officially appraised? If not, please state why it has not been appraised.

- Yes
- No

< Reason >

1-3-2 Output 2 “Training cycle for instructors is established.”

(1) Do you think the training cycle for instructors has been established? If not, please state why it is not established.

- Yes
- No

< Reason >

(2) Are you satisfied with the established training cycle for instructors?

- Yes
- No

- Other ()

1-3-3 Output3 “Training cycle for managers is established.”

(1) Has the training cycle for managers been established? If not, please explain why it has not been established.

- Yes
- No
- Other ()

<Reason>

(2) Are you satisfied with the established training cycle for managers?

- Yes
- No
- Other ()

2. Process

2-1 Monitoring

Do you think the progress of the project has been monitored properly? If there is an issue, please describe below.

- Yes
- No

<Issue>

2-2 Communication

Do you think the Ugandan side has had communication with the JICA Project Team? If there is an issue, please describe below.

- Yes
- No

<Issue>

3. Evaluation

3-1 Relevance

(1) Do you think the project is relevant to the needs of Technical and Vocational Training Sector in Uganda?

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

(2) Do you think the project is relevant to the needs of the MoES?

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

3-2 Effectiveness

Please describe the factors to promote the achievement of the project purpose. Please also describe the factors to hamper the achievement of the project purpose.

< Promoting factors >

< Hampering factors >

3-3 Efficiency

(1) Do you think the dispatch of the experts from the Japanese side is adequate in terms of number and timing? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Issue >

(2) Do you think machinery and equipment provided by the Japanese side are adequate in terms of quantity and quality? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Issue >

(3) Do you think the planned project activities are the appropriate means to secure the set outputs? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Issue >

3-4 Impact

(1) Is there any positive (negative) impact of the project, which you did not expect at the beginning? If there is, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Positive or negative impact >

3-5 Sustainability

(1) Do you think the Ugandan side will be able to institutionalize the established training cycles within the MoES? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes

- No
- Not at all
- Other ()

< Issue >

(2) Do you think the Ugandan side will be able to secure adequate funds to continue the efforts made by the Project after the end of the Project? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Issue >

(3) Do you think the persons from the Ugandan side who have been engaged in the Project have got enough motivation to carry on the efforts made by the Project? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all

< Issue >

(4) Do you think the Ugandan side will be able to fully utilize and managed the established training cycle for both instructors and managers under the Project after the end of the project by itself? If there is an issue, please describe below.

- Yes, very much
- Yes
- No
- Not at all
- Other ()

< Issue >

At last, please kindly provide the following information.

1. Organizational chart of your institute
2. Information on annual budget of your institute (FY2007 and after)
3. List of the inputs such as equipment provided the Ugandan side
4. Any comments/suggestions related to the Project which cannot be highlighted in the questionnaire above

Thank you for your understanding of the purpose of the terminal evaluation and responding to the questionnaire.

END

Questionnaire

Addressed to the Ministry of Education and Sports

A. Overall

1. Please kindly define brief roles and responsibilities of TIET, TVET, and DIT under MoES.
2. Please kindly provide information related to your Ministry's budget planned/allocated/sanctioned for the BTVET Sector in FY2006 and after.
3. Does the MoES promote close partnership with the private sector in the BTVET Sector? If no, please briefly explain why not.
4. What has changed after the restructure of the MoES which may affect the JICA Project?
5. How does the MoES plan to continue the efforts made by the JICA Project by itself?
6. Has the JICA Project made any positive/negative impact to the MoES? Please briefly explain.

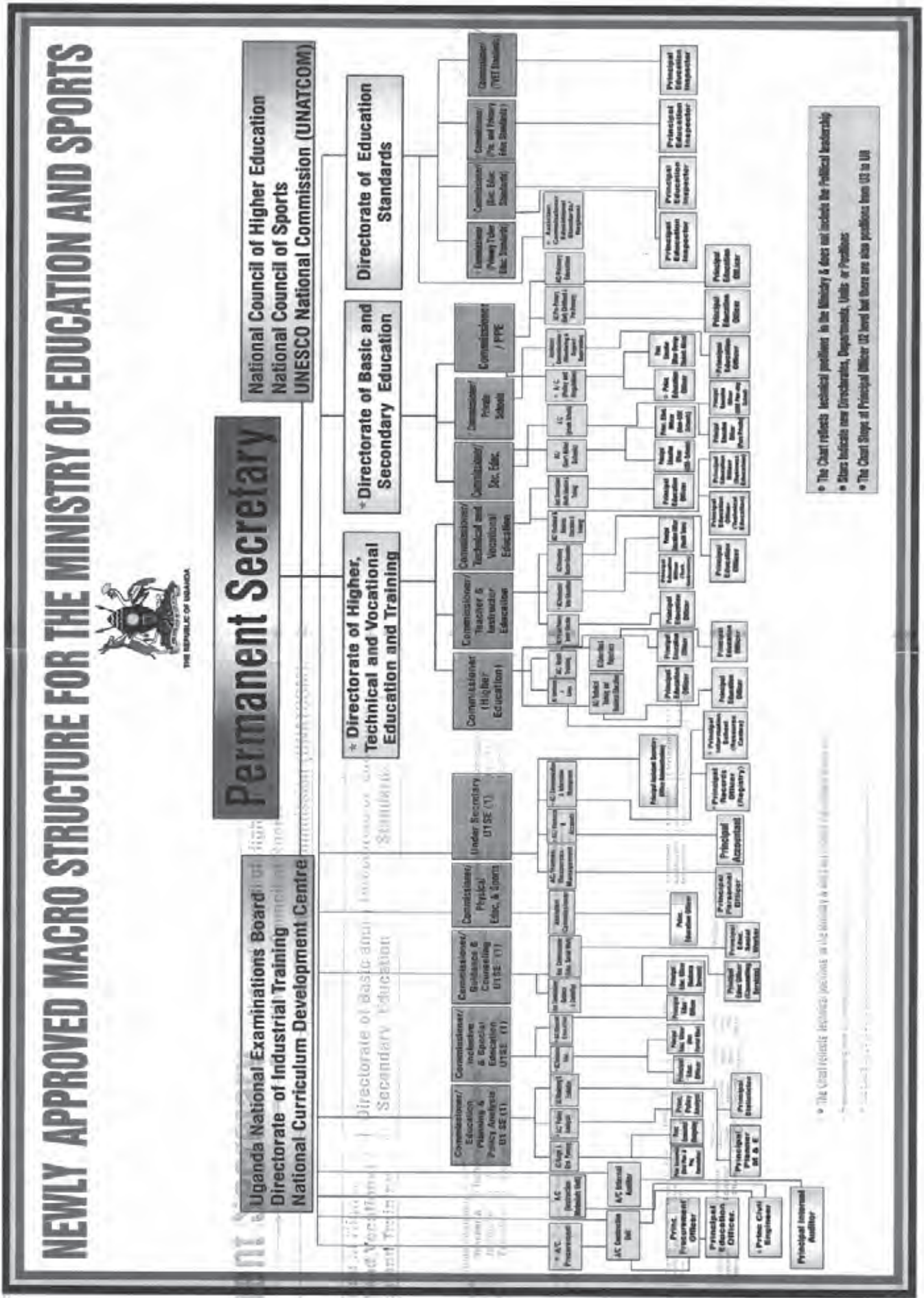
B. Policy

1. How does the Government of Uganda view the future of the BTVET sector in Uganda? Please briefly explain.
2. Has any changed made in the Education Sector Strategic Plan: ESSP 2004-2015, which may affect the JICA Project?
3. How is the MoES implementing the Plan?
4. Who are the donor agencies that the MoES closely work with? Please briefly describe, if related to the BTVET Sector.
5. Does the MoES have any collaboration planned in the pipeline with donor agencies? Please briefly describe such plan(s), if any.
6. Has the ATP been approved and implemented under the MoES? If no, please briefly explain why not.
7. Does the MoES give importance in improving the capacity trainers in the BTVET Sector in the coming years? Please briefly explain why/why not.
8. Has the JICA Project contributed in setting up the ATP? Please briefly explain why/why not.

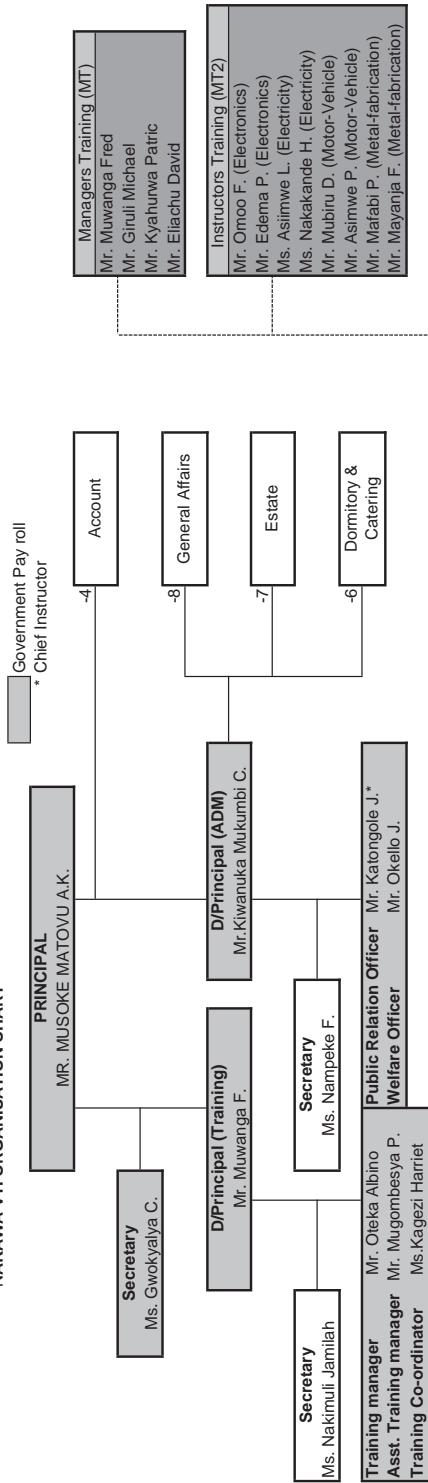
C. Budget

1. How is annual budget for the BTVET Sector planned/approved/sanctioned in the MoES? Please briefly explain.
2. How does the total budget of the MoES allocated to each department/section/unit?
3. What is the expenditure rate of annual budget in the BTVET Sector?
4. Do most departments receive the proposed amount from the Government of Uganda each year? If no, please briefly explain why not.
5. Does the MoES expect any increase in its budget in the coming years?
6. Please share budgetary concerns which the MoES faces in funding the ongoing projects/activities related to the BTVET Sector.

6. 教育・スポーツ省 (MoES) 組織図



NAKAWA VTI ORGANISATION CHART



Government Pay roll
* Chief Instructor

Level	Position	Staff
-6	HOD Electronics	Mr. Omoo F.
-6	HOD Electricity	Ms. Nakakande H.
-7	HOD Machinery	Mr. Okello J.*
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Mubiru D.
-4	HOD Woodworking	Mr. Bemanya N.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Malabi Peter
-4	HOD Welding	Mr. Mayanja F.
-4	HOD BCP	Mr. Waako K. F.*
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Rujumba M. Ms. Kagezi H. Mr. Edema Peter Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-6	HOD Electricity	Mr. Bokenya Idi
-7	HOD Machinery	Mr. Kabanda. W.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.
-6	HOD Electronics	Mr. Okumu S. Ms. Asimwe L.
-6	HOD Electricity	Ms. Were Janet Mr. Okello H. Phillip Mr. Matsiko Kenneth Mr. Apire W. Mr. Turnushabe S.
-7	HOD Machinery	Mr. Wangolobe Mr. Bulafu D.
-9	HOD Motor Vehicle	Mr. Asimwe P. Mr. Madila Alex Mr. Segouya J. Mr. Musanje j. Mr. Kibirige Njuki J. Mr. Lule D. Mr. Kiyimba M. Mr. Sebanakitta W.
-4	HOD Woodworking	Mr. Nabbaya R. Mr. Nyanga P. Mr. Nyanzi R.
-4	HOD Sheetmetal	Mr. Kazibwe R. Mr. Keeya Francis Mr. Kaweesa R. Mr. K. Richard
-4	HOD Welding	Ms. Nassaza J. Mr. Wanyama I. Mr. Janja Mr. Akumba P. Mr. Tooto A.
-4	HOD BCP	Mr. Tusiime Polycap Mr. Rwendeire A. Mr. Alfrida B. Mr. Agaba L.
-5	HOD Pedagogy	Mr. Giruli M. Mr. Kyahurwa P. Mr. Eliachu D. Mr. Muhangi G. Ms. Achemustio B.

